

# ばんえい

昭和55年度

DRAFT.RACE

NO. 11



Y.U

北海道市営競馬協議会会報



## 直線二〇〇mのドラマ

砂塵舞いあげ

戦場かける重戦車

黒煙吹きあげ

山峡かける機関車

思い出す光景は

はだ  
皮膚をふるわす戦慄

心押し出す迫力

直線二〇〇mのドラマ

短かくも

映えわたる

ばんえい軍団

いつまでも心にのこる

## 目 次

会報発刊に寄せて……………	3
不況も馬力で跳返したファミリーばんえい……………	4
競馬運営の特徴について……………	8
ばんえい騎乗騎手紹介……………	11
マスコミに取上げられたばんえい……………	16
北見競馬のある一日……………	24
市営競馬十年を省りみて……………	26
三才馬体重調……………	28
ばんえい便り……………	29
ばんえい競馬からの種雄馬購買……………	32
三才馬の種雄馬成績……………	33
女性と子供の多いファミリーばんえい……………	34
各地の祭典ばんば……………	35
昭和五十五年北海道市営競馬協議会……………	39
馬産奨励事業奨励者……………	39
昭和五十六年度報償費……………	47
昭和五十六年度番組編成要領……………	49
昭和五十五年市営競馬成績……………	50
昭和五十五年道営競馬成績……………	50
昭和五十五年種雄馬ランキング……………	51
昭和五十五年賞金受賞ランキング……………	52
昭和五十五年引退馬(表彰馬)……………	53
昭和五十五年リーダーディング……………	58
農林水産大臣賞ダイケツ制覇する……………	58
昭和五十六年度市営・道営競馬日程表(予定)……………	59

# 会報発刊に寄せて



北海道市営競馬協議会

会長 坂東 徹

昨年は一九八〇年代の幕明けの年として、ま

た地方時代の幕明けの年として日本全体が社会的にも経済的にも新たな試練と幾多の課題を背負って大きく歩み始めた年でありました。

今わが国は、国際社会において経済大国としての役割が大きく先進国はもとより後進諸国からも強く期待されているところであります。

一方国内的には、国家財政の再建を大きな柱としながらも地方がそれぞれ明日の都市づくりに向けて自らの目標と理念を持ち、地方の時代へと飛躍することを期待されております。

このような情勢のなかにあつて、市営競馬においても地方の時代にふさわしい個性と特性を生かした、ばんえい像をめざし全力をかたむけ、極めて厳しい地方財政の一助を担っております。

昨年の市営競馬をふりかえってみましても、

四月二十五日を皮切りに延一〇二日（一七開催）が無事終了、売得額におきましては、二六八億九千万円で前年比一一〇、九％と順調な伸びを示したことは誠に喜ばしい限りであります。このことはひとえに関係各位をはじめ多くのファンの皆さまから支えられた業績のなにもでもありません。

今年も引き続き、公正競馬の確保を最重要とし執行体制の強化を基調として、ご家族そろって楽しい一日を過せる憩いの場として見るだけでも面白い明るいばんえい競馬づくりのために鋭意努力する所存であります。

特に、当面する課題のなかで具体化させなければならぬものとして、帯広競馬場にトータ

入がされますので四場とも投票業務が機械化されるため、相互場外発売計画を具体化させて早期にファンのニーズに応えたいと考えております。

また、現今のような情報化社会にあつては、迅速かつ適確な情報の提供によって、ファン層の信頼性を高めなければなりません。このため、各主催者と地全協か一体となりまして全国的規模における競馬情報電算処理化の実現に向けて総合的な検討を急がなければならないものであります。

さらには、馬資源対策につきましても本腰をいれて取り組まなければならない時期にあることは論をまちません。どれひとつとつてみましても相当多額の財政需要を必要といたしますが、反面競馬における収益率につきましては、年々低下しつつある現状認識にたつて市営競馬の開催増を各関係方面に精力的に折衝していかなければなりません。

そういった意味では、今年は総ての面で正念場の年であります。現状を冷静に直視し、四市催者が総力を結集して、ますます深刻化する市営競馬の充実発展を図つてまいる決意でありますので、関係各位の絶大なるご支援とご指導を切にお願い申し上げます。

# 不況を馬力で跳返した ファミリーばんえい

北海道市営競馬協議会

事務局長 鈴木一彦

オイルショック後の経済不況を克服して、過去五年間の最高伸率一〇九%の上昇率を示し、やっと愁眉を開いた昨年度の地方競馬も、昭和五十五年度は再び経済不況の見通しのとおり、全国平均上昇率一〇二・三%の低い伸び率に留まり、入場人員も九七・四%の下降線をたどる成績となった。

この様な衰勢の中で、ばんえい競走は全国公営競技中、上昇率でトップの座を確保し、売得金上昇率は一一〇・九%、入場人員も一〇七・五%と大巾な上昇を示し、大衆に愛されるファミリーばんえいとして、不況を跳返す好成绩で無事終了することができました。

## 五十五年度を顧みて

本年度のばんえい競走は、公正確保を

第一とし、執務体制の強化、ファンサービスの充実、競馬番組の斬新化等を図り、四月二十五日岩見沢競馬にて開幕、十七回一〇二日を開催し、十一月十日岩見沢競馬を最後に全日程を無事終了することができました。

## 売得金額

岩見沢競馬は五回三十日、旭川、帯広、北見の各場はそれぞれ四回二十四日、合計十七回一〇二日間の売得金総額は、一つの目標であった二五〇億円の大台を大中に突破し、二六八億九七四七万円で、前年対比一〇・九%増の成績となり、念願の伸び率二桁台を獲得することができました。

各競馬場毎の売得金額は

旭川 七億五三〇一万円  
帯広 六二億九七五〇万円

北見 五三億六八八六万円  
岩見沢 八〇億七八一〇万円

で、予算をそれぞれ大巾に突破し、一日平均売得金の前年対比は

旭川 一〇七・〇%

帯広 一一三・七% (全国第二位)

北見 一一七・〇% (全国第一位)

岩見沢 一一二・〇% (全国第五位)

で、旭川を除き二桁台の伸びを示し、北見は上昇率全国第一位の栄冠に輝き、全国ベスト五に三場が入る好成绩でありました。

一開催レコードは、第四回旭川競馬で二三億六千万円のばんえい史上最高の大記録を達成、また、第四回帯広競馬では、二〇億円にもう一步の一九億七八三三万円でレコードを更新しました。

一日レコードは、残念ながら更新できなかったが、一Rレコードは、例年同様、農林水産大臣賞典競走(第五回岩見沢)で一億二七六万円の記録を樹立し、旭川、北見に次ぎ念願の一億円突破を達成、一R一億円の大台突破を連続三年間確保することができました。

また、永年の目標としていた、一開催一〇億円以上(前年一〇億円以下二回)一日一億円以上(前年一億円以下二回)を本年度で達成することもできました。

平地競走(道営競馬を一〇〇%)との比較は、一日平均売得金額において、旭川競馬では約二倍の一八八・九%、帯広競馬では一六六・三%と年々その差は開き、岩見沢競馬はにおいても前年より五・

七%増の九一・三%まで追上げることができました。

## 入場人員

入場人員については、昭和四十九年度に四〇万人を突破以来、次の目標の五〇万人まで遅々として伸なやみましたが、本年度大望の五〇万人突破を達成することができました。

総入場人員 五三五、四八〇名

一日平均前年対比 一〇七・五%

と大巾な上昇を示し、伸率は全国第一位となり、特に近年女性と子供の入場が年々増加の傾向にあることは、家族ぐるみで楽しむ健全娯楽として愛される「ファミリーばんえい」としては、大変喜ばしい傾向であります。

各場別の入場人員及び一日平均前年対比は、

旭川 一四二九五六名 一〇六・一%

帯広 一二六七二五名 一一二・七%

北見 一〇九九九五名 一一四・四%

岩見沢一五五八〇四名 一〇二・八%  
で、北見と帯広は全国上昇率の第一、二位を確保できた。

一日入場者レコードは、第四回北見第五日目において、九九一〇名と一万人にもう一步とせまり、一開催レコードは、第四回旭川の四五二二一名、第四回帯広の三六六六六名と、それぞれ更新された。

## 公正確保対策

全国会議等で検討されていた制裁基準

の一部改正案が、全公営総会において決定され、ばんえい競走も本年度から、調教師の臨場業務委託の許可は公正審判委員が取扱い、許可条件の厳格化を図り、また、代行許可を与える期間及び委任者と代行者との責任の分担、賞典の授与について明確化することにした。

前売、場外発売、ファンサービス等の点から、ばんえい競走関係者は、騎乗停止の始期について処分の発効は翌日からとしてはとの提案をしてきたところであるが、やっと本年度から全国的に歩調を揃え、故意、重大な過失又は保安措置を必要とする場合を除き、処分の発効は当該競走の日の翌日からとなった。

発走地点に行けるきゆう務員の人員は、本年度から二名に限定し、指定された一人の者以外は競走中走路内に立入ることを禁止し、これ等を含めたきゆう務員に対する指示を、委員長指示事項に明文化して、公正確保を図った。

また、公正審判委員専用の競走パトロールVTR一台をカラー化し、判断の正確化と迅速化を図り、その成果は見るべきものがあり、年次計画に基づき全台カラー化を進めることになった。

平地競走に比較して最も遅れをとっているのが職能分離であります。調騎分離後残された、馬主と調教師、騎手、きゆう務員の分離については、四月一日地全協業務方法書の一部改正に伴い、完全分離に向けて進められることになり、名義貸防止についての強力な指導を実施した。

できたところでありませう。

## 近代化

四競馬場中、トーターを設置している場は、昭和五十二年四月に岩見沢、昭和五十四年八月に北見であったが、本年四月旭川にシングルユニット方式のトーターが導入され、残すところは帯広だけとなった。

発券機は、一一〇台設置しましたが、最終回の二十三億円を売ったときの突口の混雑状況からみて、発券機の台数不足が検討課題として残された。

検査室における通過順位及び検体採取指定馬の馬番の掲示については、その正確化と迅速化を図るべく、新式の電光掲示板を検査室に新設し、厩舎関係者の好評を得た。

## 競馬番組

競馬の商品は競馬番組であり、ファンニーズに答える商品を提供しなければ、馬券は売れるものではない。

ファンに興味ある漸新的な競馬番組を提供することを第一として、本年度の競馬番組を編成した。

(一) ファン人気投票競走の実施  
昨年岩見沢競馬において、四く五才オープンによるポプラ賞競走をファン投票で実施し好評を得たが、本年度からは、当該レースを重賞競走として固定化し、十一月二日に第二回ポプラ賞として実施した。

帯広競馬においては、八月一〇日オープンクラスによる帯広大賞典競走人気投票競走として新規に企画し、総投票数四〇六四三票の見込以上の投票があり、大盛況で終了しました。

(二) チャンピオンカップの固定化  
本年度四才以上の重賞競走一着馬のみが出走資格のある競走として、別定重量による第二回チャンピオンカップ競走を岩見沢において一〇月二日実施したが、四才のNo.1、ダービー勝馬のマルトダンサー号が楽勝し、八三六〇円の大穴となった。

(三) 準メインレースの増加  
土、日、祭日に、ローカルカラー豊かな名称を採用した準メインレースを一レース増加し、ファンの好評を得た。

(四) 重賞競走の一部定量化  
従来行っていた四才以上オープンによる農林水産大臣賞典競走(ばんえい重量一〇〇kg)以外に、次の重賞競走のばんえい重量の定量化を図り、別定重量戦による重量差の不公平を是正した。

三才 青雲賞  
四才 優駿、優駿牝馬、菊花賞  
五才 地全協賞  
(五) 賞金  
報償費の予算も年々増額され、本年度は一八億一千万円を計上、農林水産大臣賞典競走の一着賞金六五〇万円を最高峰に、旭王冠賞の六〇〇万、

帯広記念、旭シルバークップの五〇〇万円と続き、三〇〇万円台が大増(六R)の九R、二〇〇万円台が二一R、一〇〇万円台が九八Rで合計一〇〇万円以上のレースを一三二R実施し、前年対比三五R増の充実した競馬番組を編成しました。

(六) 蛍の光賞の新設  
ばんえい競走の年令制限は一〇才となっているが、永年ばんえい競走に協力してきた労に報いるため、最終回最終日に引退する一〇才のオープン馬のみで編成した、蛍の光賞競走(一着二〇〇万円)を新設し、引退馬の花道を飾らせ好評を得た。

なお最終レースには、オープン以外の引退馬の平場競走も実施した。

(七) 減量騎手の優遇  
騎乗回数少い減量騎手の騎乗技術向上を図るため、勝鞍制限を二十五勝に引上げ、又減量騎手のみで編成した減量騎手レースも数多く実施した。

## 出走馬

出走申込頭数は一〇九一頭、出走実頭数は六一七頭、新馬登録頭数は五八二頭で、ここ数年間は大巾な変動もなく、定着化の傾向がみられています。  
年令別出走実頭数は、三才二〇二頭、四才一一〇頭、五才八〇頭、六才以上二五二頭で、三才 $\frac{1}{2}$ 、四く五才 $\frac{1}{2}$ 、六才以上 $\frac{1}{2}$ の理想的バランスで落ちてきてい

ます。

馬体重量は年々増加し、大型化の傾向が見られ、最終計量の一頭平均馬体重量は、三才馬八六四kg(前年比九kg増)、四才以上九三九kg(前年比九kg増)で、一〇年前に比較すれば、三才で七六kg増、四才以上で一〇九kg増と馬格の急速な向上が明確に数字に表われています。

年間受賞額の最高は、農水大臣賞典競走優勝馬の

ダイケツ号 一七六一万円  
が古馬No.1に輝き、ダービーと菊花賞の二冠馬となった。

マルトダンサー号 一四六四万円  
が四才馬ながら第二位となり、帯広記念優勝馬の

カイリキ号 一四一八万円  
が第三位となり、その他一千万円以上が五頭であった。

通算受賞額については  
ハクリュウ号(九才) 五九四一万円  
テツワカ号(九才) 四七三三万円  
ダイケツ号(七才) 四五三三万円  
キヨヒメ号(七才) 四〇七〇万円

の四頭が四千万円を突破、三千万円以上は七頭であった。

三才馬のNo.1は、青雲賞を含む十一戦六勝の

ハイスピード号 九七六万円  
に輝き、数年ベルジャン系種雄馬の産駒におさえられていたベル系種雄馬の産駒がNo.1に返り咲いた。

ばんえい競走経歴種雄馬であるタカラ

コマ号の産駒の活躍が本年も目覚しく、三才の登録馬四八頭中、能力検査合格馬三七頭、合格率七七%の驚異的記録を樹立し、三才馬受賞額ベストテンの中に四頭も入る健斗振りであった。

## 馬産対策

昭和五十四年の本道における農用馬の飼養頭数は、戦後最低の一三二二四頭に減少し、その雪崩現象は留まるところを知らなかったが、本会は昭和四十八年から、この雪崩現象に歯止めをかけるべく、生産奨励事業に着手、毎年一千万円以上の予算を計上して生産対策に努めてまいりましたが、近年のばんえい競走の隆盛と肉資源の需要増に伴い、馬産地の生産意欲の向上が反映し、やっとその成果が見られたし、昭和五十五年の統計資料によれば、今まで続いた下降線が稍鈍化し、前年比四三二頭減の一二六九二頭に留まり、二、三年後には下降線が上昇線に変わる推移も見込まれ、また種付頭数も近年増加の傾向にあるなど、最近にない明るいニュースとなった。

優良農用馬生産の基礎となるべき外国産種雌馬の導入も盛んとなり、十勝管内で六〇頭、根室管内四三頭、釧路管内二七頭を輸入する等、生産地におけるばんえい競走馬生産熱は急激に燃え上り、やっとな資源枯渇の愁眉を開くことができな

した。  
「ダービー馬はダービー馬から」の競馬の原則どおり、能力の検定の場である

競馬で、立派な成績をあげた種雄馬の産駒の競走成績が優秀であることは、過去の統計上立証されているところでありますが、日本馬事協会は、本年度岩見沢競馬場において、オープン馬であるイチモンジ号以下六頭の現役馬を購入し、道内と九州の農業団体に貸与しましたが、これ等の産駒が三年後には競馬場で優秀な成績で活躍することを念願する次第であります。なお、昭和五十一年以降の購買頭数は合計十二頭となった。

## 騎手成績

調教騎手は五〇名(新規二名)、騎乗騎手は三七名(新規一名)で本年度は開催しましたが、十二月の時点で、調教騎手勇退制度の実施により、宇高輝次、平田正一、中村清信の三師が後進に路を譲り勇退されました。

騎乗騎手の成績は、金山騎手が一〇七勝で連続七年間一〇〇勝以上をマークし、通算九〇七勝の大記録を更新中であり、明年度中には、ばんえい史上初の一〇〇勝騎手が誕生することは確実となってきた。

新人は西弘美騎手一名であったが、その活躍は目覚ましく、二七四戦三八勝の新人年間勝利率度のレコードを樹立し、ベテラン顔負けの新人らしからぬ騎乗振りは、今後大いに期待されるところである。

## ファンサービス

新企画として、「ばんえいカレンダール」を馬主会とタイアップして二万部製作、関係者及びファンに無料配布して好評を得ましたが、その他各競馬場で趣向をこらしたファンサービスを実施した。

## 岩見沢競馬

四月二十五日からのまだ肌寒い初回競馬で、入場者一万名に「携帯用スパーカイロ」を配布、日祭日にはポラロイド写真サービス付の子供乗馬、五月十一日岩見沢記念レース当日の「五色火花」の打上げと十五才以下の子供に「競馬せんべい」の配布、十月十二日イレブンPM賞当日に「ハンカチ」の配布、十月二十四日からのアンケート協力者に「ボールペン」のお礼、十一月二日ポプラ賞の人気投票者に抽せんで記念品の贈呈。

## 旭川競馬

第一回から乳母車を五台場内に配置して好評を得た。八月三十一日電算化記念として名刺入とティッシュペーパー入の配布、九月五日から三日間「牛乳無料サービス」、九月七日開基九〇周年記念として「ハンカチセット」の配布。

## 帯広競馬

八月十日をファンサービスデーとして「みちのく風鈴」の配布と「牛乳無料サービス」、音更町の駒踊り保存会一行の勇

壮な「駒蹄」の披露、帯広大賞典のファン人気投票者に抽せんで「高級ガラスライター」を贈呈。

## 北見競馬

九月二十三日をファンサービスデーとし、競馬場までの無料バスを配置し、入場者に「名刺入」子供には「下敷」の配布と「牛乳無料サービス」、スタンド前では「屯田太鼓」の披露、アンケート協力者に「キーホルダー」をお礼に贈る。

## 昭和五十六年度 に向って

一九八〇年幕開けの年から好調に滑出したばんえい競走も、いつかは不況の波にのまれる時代の来ることを常に念頭におき、勝って兜の緒を締めよのとおり、新年度に向っても、公正確保と運営改善に努め、一層の発展に鋭意努力する所存であります。

## 施行体制

昭和五十年秋に、ばんえい主催四市による一部事務組合設立の気運が高まってから早くも五年半を経過しましたが、遠隔の地に散在する四主催者を一本化する、他府県に前例のない困難性が根強く、まだ設立の時期に達していないが、新年度においてもプロジェクトチームによる問題点の詰を図り、一日も早く設立されることを念願している次第である。

## 公正確保

全国の地方競馬において多発した不祥事件に鑑み、農水省の強力な指導の下に、全国統一の制裁基準の強化改正が検討されましたが、本年二月十九日の全公営総会で、改正案が承認され、ばんえい競走もこれに準じて改正し、公正確保に数歩前進することになった。

また、厩舎管理体制の改善として、厩舎内出入者のチェックの厳格化と厩舎自衛委員会の指導強化、騎手の研修教育の強化等を図ることとした。

なお、公正審判競走監視用VTRを年次計画により新年度も一台カラー化し、判断の正確化と迅速化を図ることとした。

## ファンサービスの充実

道内の競馬場で最も電算化の遅れた帯広競馬場で、四月の開催からシングルユニットシステムの機械発売が実施され、ファンサービスの充実が図られることになった。

四場電算化完成を契機として、念願の四場相互場外馬券発売の夢が、一歩前進し、早期実施に向って、プロジェクトチームによる細部検討が進められることになりました。

旭川競馬場においては、大型オッズ表示装置の設置及び発売窓口混雑緩和対策として、発売機を三四台増設することになりました。

北見競馬場は、ばんえい競走初の試み

として、全開催について開催日の十二時から第八競走以降の三競走について前売を実施し、ファンサービスと交通対策、場内の混雑緩和、ノミ行為の防止等を図ることになった。

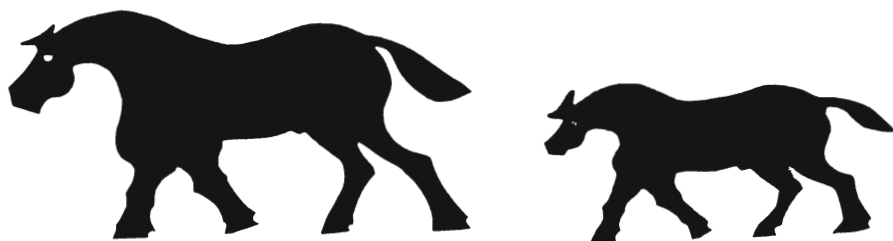
また、好評だった「ばんえいカレンダー」を本年同様馬主会とタイアップして製作、関係者及びファンに贈呈し、ファンサービスとPRに努めることにしました。

## 競馬番組

報償費は、ばんえい史上初の二〇億円の大台を突破し、また、北見競馬場の厩舎増設六〇馬房に伴う入厩頭数一〇%増が見込まれるので、新年度に向っては、賞金増と出走頭数増による充実した番組編成が可能となり、ファンに対し、内容豊かな競馬を提供して、ばんえい競走の益々発展することを期待しているところであります。

## 結び

昭和五十六年度の開催日程は、四月二十五日帯広競馬で開幕、十七回、一〇二日を開催し、十一月十六日帯広競馬で終了する予定であります。公正確保を第一とし、ファンに愛される「ファミリーばんえい」として、より一層前進した施行体制で開催する決意でございますので、関係各位の絶大なるご指導ご支援をお願い申し上げます。





# 競馬運営の

## 特徴について

旭川市審議員

鈴木善次郎

昭和五十五年度海外競馬運営研修団の一員として去る九月二十九日より十月十四日まで、オーストラリア、ニュージーランド及びタイ国における競馬運営並びに生産牧場における馬生産の現況等を研修視察する機会を得、無事帰旭いたしました。

団長としての責務と視察結果のとりまとめでおおわらわでしたが一応総括的にまとめられました。不十分なものがござい読たまわれれば幸甚です。

尚、今回の研修派遣にあたりお寄せいただきました諸賢の御好意に心から感謝申し上げます。御礼申し上げます。

オーストラリア

オーストラリアの競馬は、六一九の民間の競馬クラブにより運営されている。競馬場は四六四カ所です。都市競馬（メトロ

ポリタン）と地方競馬（パブリック）に区分され交流競馬も盛んに行なわれている。

一、組織について

オーストラリアにはニューサウス・ウェルズ州のオーストラリア・ジョッキークラブを始めとして他の州に十一、計十二の主幹のクラブがあり、それぞれの州の法律によって管内の競馬クラブ及び関係機関等を統制監督している。また主幹クラブの委員会は、競馬に対する統轄権を有するとともに、苦情を処理する機関であるオーストラリア・ジョッキークラブは、各州の主幹のクラブの協力を得て、オーストラリア・サラブレッド血統登録や馬名登録を全国一律に実施している。オーストラリア・サラブレッド血統証は、ビクトリア州のビクトリアレーシングクラブ

クラブ（メルボルン）と共同で管理している。また、理化学検査機関も設置され各州より送ってくる検体を処理している。

競馬クラブの運営は、会員の選出する委員会（コミティ）が中核となり、事務を司どっている。従って競馬クラブは非営利の会員制の団体である。オーストラリア競馬機構の中心的存在であるオーストラリア・ジョッキークラブ（シドニー）ビクトリア・レーシングクラブ（メルボ

ルン）の二つの主幹クラブの組織機構の概要について述べる。

(1) オーストラリア・ジョッキークラブ  
ニューサウス・ウェルズ州の主幹クラブで現在約二千名の会員。州内の競馬を統轄、監督するとともに都市競馬（メトロポリタン）であるランドウィック競馬と、ウオー、ウィックファーム競馬を開催している。

①主幹のクラブの業務の内容



シドニーランドウィック競馬場

(7)州内の競馬クラブ登録機関の設立許可

(イ)競馬開催の許可及び監督

(ウ)競馬日割の決定

原則として土曜日、クリスマス  
正月に開催。

(エ)調教師、騎手、開催執務員の免許許可

(オ)ブックメーカーの登録

(カ)競馬諸規則の制定

(キ)上訴の裁定

(ク)競馬の開催業務の概要

競馬番組の作成、出走馬の登録、馬主、調教師、騎手、きゅう務員の登録業務を行ない、また従事員の雇用関係者の保険業務など開催に直接必要な業務を行なう。

②開催運営について

競馬の開催運営には、主幹クラブから任命された七名の開催理事が全責任を以て当り、理事は施行規則により自由裁量で処理できる権限が与えられている。

(2)ビクトリア・レーシングクラブ

ビクトリア州の主幹クラブで古都メルボルンにあり、会員数二、七〇〇名。ビクトリア州の競馬を統轄している。開催運営はオーストラリアの競馬施行規則に基づき都市競馬(メトロポリタン)のフレミントン競馬を開催している。オーストラリア・ジョッキークラブと殆んど同じである。主幹のクラブ以外の競馬クラブ開催は、州競馬施行規則及び細則に基づき、厳しい主幹クラブの統制監督下で行なわれている。

二、競馬の運営について

競馬運営の資金は、場内勝馬投票による収益金、TABからの配分金、ブックメーカーの登録料、入場料及び出馬票料金、食堂の賃貸料金などの収益金により賄なわれている。勝馬投票の益金一本に頼っている日本の競馬と異なり、各部門から収益を得るように努めている。また競馬場のスタンドなどの設備改善基金として、TABの余剰金が州政府より充当

されている。

三、雇用関係について

競馬クラブ職員と競馬場職員は直接競馬クラブで採用しているが、開催従事員は日本の競馬のように主催者の直接雇用ではない。従って投票関係では委託されたトータリゼーター会社が、食堂従事員はその経営者が雇用している。

競馬クラブが直接雇用する従事員は場内整理などの従事員で、その数は全従事

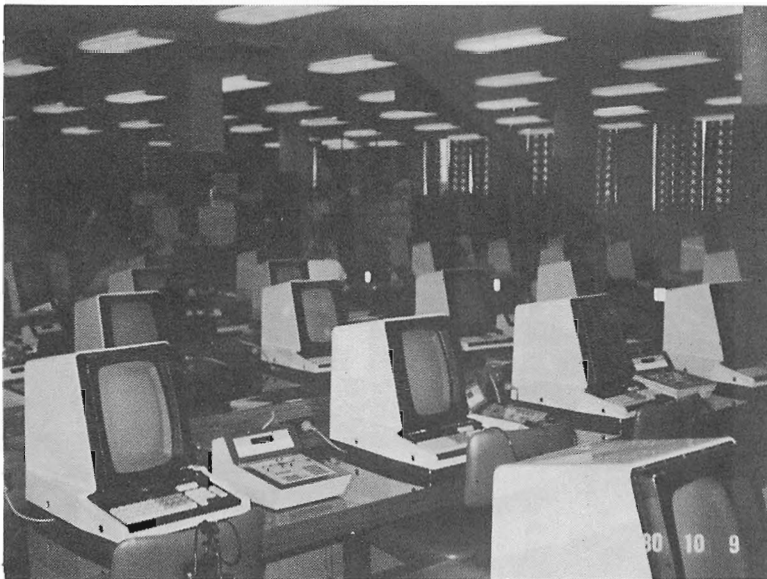
員の三分の一で、賃金問題など連絡を取りながら円滑に実施されている。

四、競走の特徴について

ハンディキャップ競走が主力を占めている。番組は勝利度数と賞金などにより五クラスに分かれ、そのクラスの中で条件付のハンディキャップ競走が組まれ、そのほかにセリングレース、クレミングレースなども行なわれている。賞金もピクニック競馬と呼ばれる零細競馬から、メルボルンカップのような高額賞金まで、多種多様でその格差も大である。また、入着賞金は四着と五着までとに州によって異なっている。競走馬の年齢は満年齢までで表わし、八月一日を起算日としているので、北半球圏に比較して六カ月のズレがある。競馬のスタイルは英国競馬をモデルとしているので、重賞競馬なども各州それぞれダービー、オークス、セントレンジャーと四才クラシック競走が行なわれているが、州都名を冠した四才以上のハンディキャップ競走に重点が置かれ、最高賞金が付けられている。その著名なのは、メルボルンカップ、シドニーカップ競走などである。

五、勝馬投票について

競馬場での勝馬投票は各競馬クラブより委託されたトータリゼーター会社による機械発売と、そのほかに古い歴史をもつ公認のブックメーカーによる二本建てで発売されている。また場外勝馬投票については、各州毎にトータリゼーター・エージェンシード(T・A・B)が法律



シドニーTAB

に基いて設立されて一括して取扱っている。最近ではT・A・Bにも電話投票などが普及し、毎年一〇%の上昇率を示している。

勝馬投票券の種類にも日本のように三種類(単、複、連複)に限らず八種類(単、複、二重勝、連単、連複、三重勝、四重勝、六重勝)の勝馬投票券が各競馬場の状況に応じて発売されている。投票別売得状況は、単、複が約半数を占め、それに次ぐのは二重投票券である。

## ニュージーランド

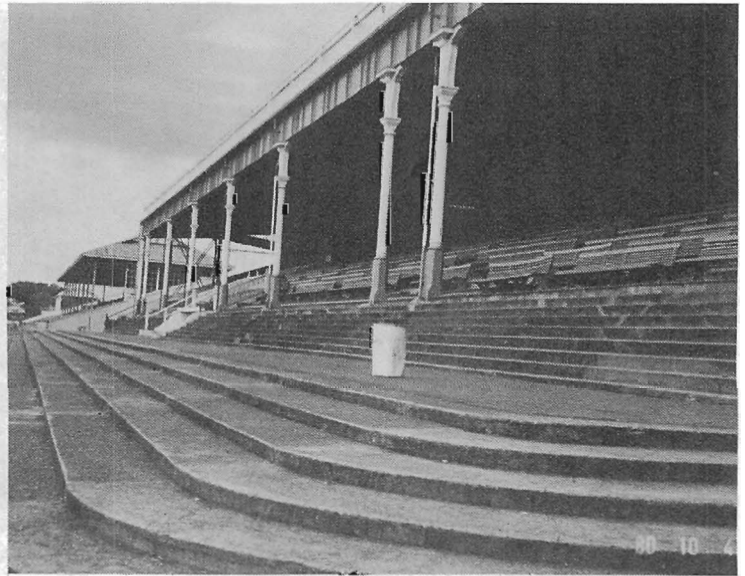
ニュージーランドの人口は僅か三二〇万、しかも広さは日本とほぼ同じで八十八の競馬クラブが五十九ヶ所の競馬場で開催している。

### 一、組織機構について

競馬は内務大臣の管理下に置かれ、法人団体法に基づき、法人として競走公社及び、競馬クラブが設立され運営されている。何れも非営利の団体である。委員会の組織は、メトロポリタン(都市)競馬より五名のメンバー委員とパブリック(地方)競馬より一名のメンバー委員より構成されている。

### ニュージーランド・レーシング・カンファレンス

主都ウェリントンにあって、ニュージーランドの駈歩競馬を統轄している。組織権限などは、オーストラリア・ジョッキークラブと殆んど同じで血統登録などの業務も担当している。



オークランドエラスリー競馬場

委員会の組織は一〇地区の代表一〇名により、会長、副会長を選出し、正副会長を含め十二名で構成され、月一回委員会を開き競馬施行の諸問題を協議決定している。総会は年一回七月に開催して施行規程などの制定、改正を図っている。競馬の開催には、オーストラリアと同様開催理事(スチュワード)が全責任をもって当っているが、制裁などについては、開催理事の自由裁量の権限で決定されず、委員会(開催理事)に持ち込み決定される。

るシステムで、オーストラリアと異なる点である。開催の運営、競馬番組などは、英国競馬をモデルルームにして、オーストラリア競馬と同じである。

### 二、勝馬投票について

ニュージーランドの勝馬投票は、競馬クラブによる場内発表と、T・A・Bによる場外発売の二本立てである。T・A・Bは、一九四九年、法律により設立され、駈歩競馬協議会と速歩競馬協議会の代表により運営されている。本部をウェリン

トンに置き、三四ヶ所の発売所より遠距離はマイク巡回線などを使用して本部に集計されている。また、電話投票も三〇台設置されている。その組織運営は諸外国にも認められ、我が中央競馬会の場外発売所にもそのシステムなどが取り入れられている。

### 「タイ」ターフクラブオブタイランド (バンコク競馬場)

バンコク競馬場は王室所有の競馬場で、クラブが借用して競馬を実施している。競馬場視察の日は入場者約三万人、賽出人出で日本の競輪場を思わせる。走路は左廻り一周一、六〇〇米、内にゴルフ場が設けられている。投票券は単と複のみで、場外発売されていない。競馬開催は、日曜日と祝祭日のみで、八、九月及び、一〇月のみ土、日曜日開催で、年間五十四日の開催である。外厩制度で競馬場には厩舎はない。

暑さの厳しい土地柄なので、競走距離を短縮し、殆んど一、〇〇〇米でレースが行われている。競走馬はサラブレッドのみで、ニュージーランド及び、オーストラリアから輸入している。騎手はタイ人のみで、レースは一日一四〜一五レース行われている。収益については、政府一〇%、バンコク市五%の控除があり、他はクラブ所有として施設の管理及び、開催費として充当されている。



# ばんえい 騎乗騎手



## 紹介



いわ せ かず ゆき  
岩 瀬 和 幸



- ①岩 瀬 喜代美
- ②昭和33年 6 月 2 日
- ③空知郡北村
- ④昭和54年 5 月
- ⑤182戦26勝 2 着17回
- ⑥173cm・69kg
- ⑦独身
- ⑧読書

### 記載事項

- ①所属調教師名
- ②生 年 月 日
- ③出 身 地
- ④初 騎 乗 年 月
- ⑤騎乗成績(55年度)
- ⑥身長：体重
- ⑦家 族 構 成
- ⑧趣 味

おお とも えい じ  
大 友 栄 司



- ①晴 披 孝 治
- ②昭和14年 4 月10日
- ③帯広市
- ④昭和37年 6 月
- ⑤500戦46勝 2 着 71回
- ⑥165cm・67kg
- ⑦妻
- ⑧レコード鑑賞

いわ もと とし はる  
岩 本 利 春



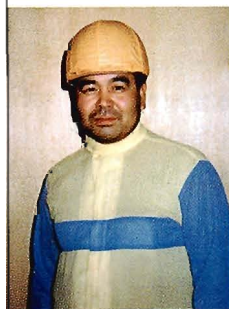
- ①嘉 見 次 夫
- ②昭和33年 1 月 7 日
- ③石狩郡当別町
- ④昭和54年 4 月
- ⑤449戦40勝 2 着52回
- ⑥176cm・73kg
- ⑦独身
- ⑧スポーツ、車

おか だ さだ いち  
岡 田 定 一

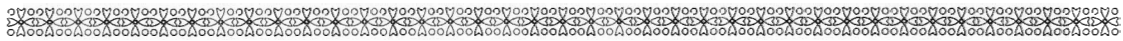


- ①太 田 啓 一
- ②昭和19年 9 月16日
- ③常呂郡訓子府町
- ④昭和41年 7 月
- ⑤274戦32勝 2 着16回
- ⑥164cm・56kg
- ⑦妻、子供 3 人
- ⑧映画鑑賞

う ぬま たけし  
鶺 沼 武



- ①中 條 照 夫
- ②昭和11年 8 月23日
- ③富良野市
- ④昭和38年 6 月
- ⑤57戦 4 勝 2 着 9 回
- ⑥163cm・73kg
- ⑦妻、子供 2 人
- ⑧レコード鑑賞



かた ひら しゆん えつ  
片平 俊悦



- ①鶴沼正吉
- ②昭和11年4月2日
- ③北見市
- ④昭和40年6月
- ⑤332戦30勝 2着39回
- ⑥163cm・73kg
- ⑦妻、子供1人
- ⑧テレビ

おがせ とみ お  
尾ヶ瀬 富雄



- ①谷内二三松
- ②昭和17年1月10日
- ③札幌市
- ④昭和37年4月
- ⑤538戦78勝 2着74回
- ⑥166cm・73kg
- ⑦妻、子供2人
- ⑧レコード鑑賞

きく ち かつ よし  
菊地 且義



- ①林正男
- ②昭和27年1月25日
- ③網走郡津別町
- ④昭和52年5月
- ⑤105戦6勝 2着9回
- ⑥163cm・64kg
- ⑦独身
- ⑧つり

かな やま あき ひこ  
金山 明彦



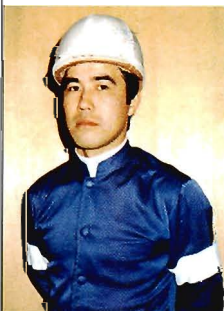
- ①本沢政一
- ②昭和26年10月16日
- ③滝川市
- ④昭和44年6月
- ⑤574戦107勝 2着74回
- ⑥173cm・70kg
- ⑦妻、子供2人
- ⑧読書、車

き らい みつ お  
喜来 光雄



- ①前原芳郎
- ②昭和17年3月12日
- ③空知郡上富良野町
- ④昭和43年6月
- ⑤392戦37勝 2着43回
- ⑥163cm・65kg
- ⑦妻、子供3人
- ⑧テレビ

き むら たく じ  
木村 卓司



- ①木村与惣治
- ②昭和23年12月3日
- ③深川市
- ④昭和43年6月
- ⑤585戦70勝 2着90回
- ⑥171cm・65kg
- ⑦妻、子供2人
- ⑧車、読書

くぼ うち ひさ よし  
窪内 久義



- ①小北定一
- ②昭和2年9月7日
- ③常呂郡佐呂間町
- ④昭和38年6月
- ⑤28戦1勝 2着3回
- ⑥164cm・73kg
- ⑦妻
- ⑧レコード鑑賞

く どう まさ お  
工藤 正男



- ①谷内二三松
- ②昭和25年3月23日
- ③沙流郡門別町
- ④昭和48年5月
- ⑤556戦68勝 2着68回
- ⑥160cm・63kg
- ⑦妻、子供6人
- ⑧レコード鑑賞

ばんえい DRAFT.RACE

さかもととういち <b>坂本東一</b>	①坂下 弥作 ②昭和28年 8月27日 ③青森県 ④昭和50年 5月 ⑤114戦 8勝 2着 9回 ⑥170cm・58kg ⑦妻 ⑧絵、スポーツ（野球）	さえきよし のり <b>佐伯義則</b>	①淵上 昭一 ②昭和21年 2月10日 ③北見市 ④昭和45年 6月 ⑤399戦38勝 2着33回 ⑥162cm・68kg ⑦妻、子供 3人 ⑧レコード鑑賞
-------------------------	---	-------------------------	---

たがみただお <b>田上忠夫</b>	①田上 正 ②昭和33年10月 7日 ③上川郡下川町 ④昭和52年 5月 ⑤180戦18勝 2着18回 ⑥169cm・70kg ⑦独身 ⑧車、スポーツ（野球）	すずきくにや <b>鈴木邦哉</b>	①荒井 実 ②昭和29年 7月26日 ③岩手県 ④昭和53年 4月 ⑤57戦 3勝 2着7回 ⑥165cm・68kg ⑦妻 ⑧レコード鑑賞
-----------------------	--	-----------------------	--

とうじょうときお <b>東條登喜夫</b>	①氏家 昭 ②昭和31年12月 1日 ③天塩郡豊富町 ④昭和54年 4月 ⑤80戦 8勝 2着 4回 ⑥156cm・58kg ⑦独身 ⑧レコード鑑賞	ちばひとし <b>千葉均</b>	①坂本和昭 ②昭和30年 1月22日 ③虻田郡京極町 ④昭和54年 4月 ⑤264戦16勝 2着22回 ⑥175cm・72kg ⑦妻、子供 1人 ⑧レコード鑑賞
--------------------------	---	---------------------	---

なしもとてるお <b>梨本照夫</b>	①三浦 孝幸 ②昭和25年11月26日 ③砂川市 ④昭和48年 5月 ⑤81戦 5勝 2着 4回 ⑥168cm・65kg ⑦独身 ⑧読書	ながいかつとし <b>永井勝利</b>	①石川 重吉 ②昭和20年 6月18日 ③美唄市 ④昭和47年 5月 ⑤40戦 3勝 2着 4回 ⑥175cm・67kg ⑦妻、子供 1人 ⑧スキー
------------------------	---	------------------------	---



にし むら はる お  
西 邑 春 夫



- ①中西 関松
- ②昭和23年 1月17日
- ③帯広市
- ④昭和45年 6月
- ⑤45戦 3勝2着 2回
- ⑥158cm・60kg
- ⑦妻、子供 1人
- ⑧レコード鑑賞

にし ひろ み  
西 弘 美



- ①東川・山本 幸一
- ②昭和34年 1月 1日
- ③岩手県
- ④昭和55年 5月
- ⑤274戦38勝 2着26回
- ⑥178cm・71kg
- ⑦独身
- ⑧スポーツ (ジョギング)

はま だ とし あき  
浜 田 俊 明



- ①晴 披 孝 治
- ②昭和27年 1月26日
- ③岩手県
- ④昭和53年 4月
- ⑤71戦 9勝2着 9回
- ⑥168cm・68kg
- ⑦独身
- ⑧読書

はつ とり よし ゆき  
服 部 義 幸



- ①小 北 定 一
- ②昭和22年 1月12日
- ③旭川市
- ④51年 4月
- ⑤59戦 2勝 2着10回
- ⑥156cm・61kg
- ⑦妻、子供 2人
- ⑧スポーツ (野球)

ひさ だ まもる  
久 田 守



- ①藤 川 晴 雄
- ②昭和28年 2月21日
- ③北見市
- ④昭和47年 5月
- ⑤491戦80勝 2着57回
- ⑥172cm・56kg
- ⑦妻
- ⑧映画鑑賞

はや せ いわお  
早 勢 巖



- ①東川・山本 幸一
- ②昭和 8年 1月22日
- ③旭川市
- ④昭和38年 6月
- ⑤256戦12勝 2着31回
- ⑥167cm・72kg
- ⑦妻、子供 3人
- ⑧読書

ふる た かく ぞう  
古 田 覚 造



- ①長 沢 豊 秋
- ②昭和15年 8月26日
- ③岩見沢市
- ④昭和39年 6月
- ⑤81戦 4勝 2着10回
- ⑥170cm・74kg
- ⑦妻、子供 3人
- ⑧テレビ

ひら た よし ひろ  
平 田 義 弘



- ①畠 中 芳 勝
- ②昭和21年 4月21日
- ③岩見沢市
- ④昭和47年 5月
- ⑤512戦54勝 2着49回
- ⑥163cm・63kg
- ⑦妻、子供 2人
- ⑧車

# ほんえい DRAFT.RACE



み うら ひろ ふみ  
三 浦 弘 文



- ①三 浦 忠
- ②昭和29年 3月28日
- ③三石郡三石町
- ④昭和51年 5月
- ⑤43戦 3勝 2着 2回
- ⑥165cm・58kg
- ⑦妻、子供 2人
- ⑧読書

まえ ばら かず のぶ  
前 原 和 信



- ①前 原 芳 郎
- ②昭和25年 5月27日
- ③空知郡上富良野町
- ④昭和53年 4月
- ⑤52戦 3勝 2着 3回
- ⑥171cm・65kg
- ⑦妻、子供 2人
- ⑧車 (ドライブ)

みな がわ こう じ  
皆 川 公 二



- ①野々宮 重 樹
- ②昭和33年11月12日
- ③常呂郡留辺薬町
- ④昭和53年 4月
- ⑤159戦15勝 2着16回
- ⑥173cm・60kg
- ⑦独身
- ⑧レコード鑑賞

みず がみ いさお  
水 上 勲



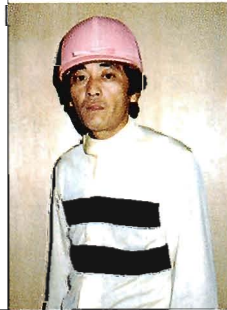
- ①中 坪 時 雄
- ②昭和11年 1月 2日
- ③富良野市
- ④昭和38年 6月
- ⑤565戦70勝 2着55回
- ⑥164cm・73kg
- ⑦妻、子供 3人
- ⑧レコード鑑賞

やす だ とし お  
保 田 利 男



- ①長 谷 功
- ②昭和 4年 7月 5日
- ③空知郡中富良野町
- ④昭和47年 6月
- ⑤40戦 1勝 2着 3回
- ⑥155cm・56kg
- ⑦妻
- ⑧テレビ

みや ざき まさ のり  
宮 崎 正 徳



- ①藤 田 貞 夫
- ②昭和23年12月21日
- ③空知郡栗沢町
- ④昭和49年 5月
- ⑤90戦 8勝 2着 9回
- ⑥169cm・55kg
- ⑦妻、子供 2人
- ⑧テレビ

やま もと まさ ひこ  
山 本 正 彦



- ①上フ・山本 幸一
- ②昭和32年10月 8日
- ③空知郡上富良野町
- ④昭和50年 4月
- ⑤302戦27勝 2着20回
- ⑥169cm・70kg
- ⑦独身
- ⑧車、スポーツ

やま だ ゆう さく  
山 田 勇 作



- ①林 正 男
- ②昭和20年 3月10日
- ③河西郡芽室町
- ④昭和38年 6月
- ⑤537戦63勝 2着62回
- ⑥170cm・69kg
- ⑦妻、子供 3人
- ⑧映画鑑賞



昭和55年3月～昭和56年2月



# マスコミに 取上げられたばんえい



ばんえいは、戦後の混乱の中から生れた。当時は食糧もなく車もなく欠乏の極にあった。食糧増産の悲願の下に農耕運搬と、堆肥の給源として馬は最も重要とされた。併せて荒廃した人心への慰安、スポーツとしてもばんえいは生れるべくして生れたのである。戦後三十余年、車は溢れ、食糧は過剰といわれる。馬はもう不用となった。果してそうだろうか。このレポートは、ばんえいと現代に生きる農耕馬をとらえた一年間の報道のうち筆者の目にとまったものを記録したものである。

1 三月二日 NHK TV

PM七・一五

鹿児島神宮初午祭に伝わる馬の足踏み踊り「ジャンカン馬」を紹介する。

人は十人、飾りたてた馬を取巻き、歌と三味線、鉦、太鼓に合せて踊り抜く。この祭典には十万人が集る。これはなかなかの評判で翌五十六年二月二十二日PM六・〇〇STVから「馬のマンボ」だと面白おかしく放送された。出場一六頭、人出一五万人という。

更に二月二十四日にはHTBのモーニングショー（AM八・四〇）で踊りの仕込み（調教）状況を石山レポーターの現地取材で紹介した。なんとこれがばんえい競走馬上りの八百キロ重ばん馬だから面白い。鹿児島県準人町、日向山の深緑に包まれた農家の庭先での調教、当家の御主人、商家、郵便局員など十数人が乗っている。調教は、三味線、鉦、太鼓に

合わせて先のほうを箒のようにさいた竹と手綱でやる。毎日毎日続き、やがて馬は音楽が鳴ると踊り出すようになる。

この馬ばんえいのチャンピオンで一五〇万円で買ってきたというが平素はあまり仕事もなく、まるで踊り専門だという。お祭りの日は村民二万人の村が一五万人にふくれ上るといふ。年々人気が高まるジャンカン馬は大したもの。

2 三月二十九日 NHK TV

AM七・三五

スタジオ〇二で元最高裁判長宮横田喜一郎氏が馬場馬術を披露する。

馬は太目の中間種。

3 四月二日 NHK TV

AM七・五〇

これもスタジオ〇二、鹿児島島の天然記念物トカラ馬をみせる。日本馬独特の相貌、一四〇センチ位の小型はどさんこに似ている。ところがこの山には三十五頭のトカラ野生牛もいる。これは三百年の昔、御所車を牽いていた牛が原生林に逃げこんで野性化したものだといふ。野生牛の寿命は短かく、七才位までだといわれる。

4 四月六日 NHK TV

AM六・五〇

ばんえいシーズンを迎えてまだ消えやらぬ雪の旭川競馬場では、ばんえいの調教が盛んである。乗り手は鉢巻姿、豪快な重ばん馬の逞しい訓練。

5 四月八日 毎日新聞

特集宗教シリーズ「もろびとの西遊記」

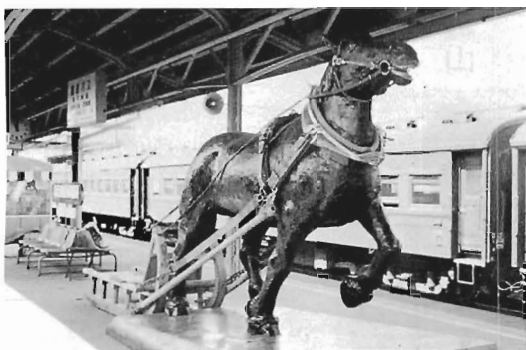
にヒマラヤ山麓を行く駄馬の記事がのっている。ここ四〇五年来中国の山岳砂漠地帯から中東へ抜けるシルクロードの紹介が盛んだが、これはザンスカール山脈の峡谷を行く駄馬が次々に急流に落ち、旅を続ける記録である。

重荷を背負って黙々と進む馬は、この地方で人間の命の次に大事なものだといふ。

6 四月十一日 毎日新聞

「岩見沢駅のホームにはばん馬の雄姿」

岩見沢駅二番ホームに等身大の木彫重ばん馬が四月十日からお目見えした。これはばんえいのPR用に同市が旭川市旭神町三の彫刻家中川貞司さんに依頼して制作したもので、鉄そりをひく重ばん馬が躍動している見事なもの。



岩見沢駅木彫ばん馬

7 四月十七日 毎日新聞

「一万二千年の昔、北海道に馬が」

稚内市坂の下の砂丘から古代の野生馬とみられる動物の骨が頭部を残してほぼ原形のまま発見された。これは約一万二千年の昔、陸続きだった北方大陸から渡ってきた可能性もあるとみた同市教委では調査を進めている。発見したのは、同市大谷高校野球部員という。

日本の馬は昔北海道に渡ったのがそもそもの始まりという説がある。

(久合田勉氏著馬学)

8 四月十二日 HBC ラジオ

AM六・四〇

「馬と私」

これは函館の中央競馬、道営競馬馬主协会会长だった松岡陸三氏(牧場主)の子息で、同市で開業している。小児科医師松岡悟氏の談話。氏はサラブレッド六頭の馬主さんだからばんえいには関係がないようなものだが、かつて父君陸三氏はしばしば市協を訪ずれ、それとなくばんえいの発展を応援してくれた人。この日の悟氏の話がちょっと面白いので特に講義する次第。

馬の健康を見る要領は小児科と同じである。赤ちゃんも馬ももの言えない。赤ちゃんの気嫌がいいとき、眼と肌色の輝やかきは、馬の毛色に通ずる。手頃な硬さの便、平熱、平脈、平静な呼吸などみな馬の好不調をみる方法と同じである。

9 四月二十五日 NHK TV

PM九・五〇

# HORSE RACING IN JAPAN - THE DRAFT HORSE

exercise grounds. In 1867, the Negami Racecourse was constructed within the riding grounds, the first western-style racecourse in Japan, and in 1868 pari-mutuel betting tickets were sold for the first time at this racecourse. However, it has been only during the past 30 years that horse racing has become a national passion in Japan.

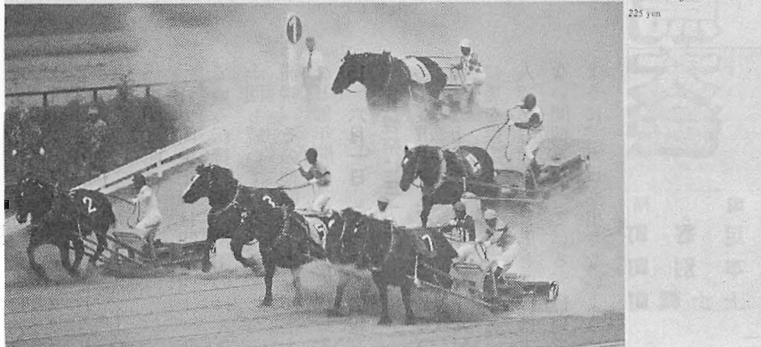
## Japanese Racing Structure

Following enactment of the Horse Racing Law in 1948 and the Japan Racing Association Law in 1954, the present-day structure of racing in Japan was set up. All racing activities - both national and regional public racing - are under the overall supervision of the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries. The Japan Racing Association (JRA) operates national racing at 10 racecourses located in various parts of the country. The

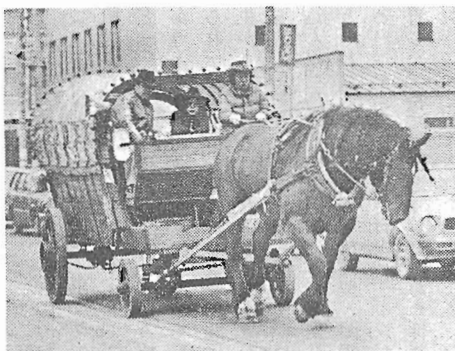
## Ban-ei - the Unique Draft Race

One surprising form of public horse racing found only in Japan is the "ban-ei kisha" (draft horse race) in which a draft horse pulls a heavy, weight-laden sled. This form of racing is a traditional one on the island of Hokkaido since thousands of strong horses were employed to help develop the region when it was first opened up by the Japanese government toward the end of the last century. Percheron and Breton horses were the heavy breeds brought to Japan to help perform this reclamation work, and they continue to be the most popular type of horses for draft races, each horse weighing between 850 and 1,000 kilograms - about twice the weight of thoroughbred racing horses. The draft horse race originally emerged as a form of competition for farm villages on their an-

225 yen



12 五月十二日 HTB TV  
溝口モータリングショー AM八・五〇  
宮城県中新田町は、名勝松島の近くにある街だが、ここに代々家業の運送業をつぐ佐藤清さん(五十四)がいる。  
毎朝作業衣に脚絆をつけ、馬頭観音様をおがみ、一日の平安を祈る。家の近くにある馬房には眠りからさめた愛馬春風



バカバカ走る幌馬車

五十五年のばんえいは、道営競馬よりひと足先に四月二十五日岩見沢で開幕。ファンをガッチリ掴んで、昨年にくらべ二倍の人数。初日一億八千万の売上げを示した。  
10 四月二十六日  
富士通国際広報誌(FUJITSU IN TOUCH)世界にばんえい紹介  
電機メーカーの大手富士通は毎年英文PR誌を刊行して広く世界に配付してい

るが、本年は競馬をとり上げ、「ホースレーシング ジャパニーズ スタイル」として、日本で初めて行われた横浜の洋式競馬の浮世絵と現在の競馬、特に世界に類例のないばんえい競馬を興味深く紹介している。この執筆は、東京外語大教授のゴールドバーグ氏で、四月二十五日午後内田元本会事務局長に面接、「ばんえい」の予備知識を得て午後から本年第一回を開幕したばかりの岩見沢ばんえいを

11 五月三日 毎日新聞  
親しく見学した。  
☆バカバカ幌馬車☆  
春まだ浅いビルの谷間に昔懐しい幌馬車のヒズメの音が響く。ここは大通公園。開拓期の北海道をほうふつさせて観光幌馬車が二日から営業を始めた。ひくのは五才馬の金太くん。大通十二丁目の資料館前から北大通りをテレビ塔まで。帰りは南大通りを通って約五〇分、人気は

四号が待っている。佐藤さんの家の馬は代々春風と名がついており、三号は交通事故で死んだという。馬具をつけ、四輪馬車をつける。これは町営馬車なのである。佐藤さんはもう三十四年間もこの仕事をやっている。馬友達はみんなトラツクに変えた。佐藤さんは決して世の中にさからっているのではない。根っから馬が好きなのである。今迄に四回も交通事故に遭っているが、いつも車が悪かった。馬は交通事故を決して起さない。町営馬車はやすく安全で評判がよい。スピードはないが、確実に運んでくれる。仕事はふえている。ゆっくりのんびりと、ときには道端の草を喰いながら、宮城の田舎道を春風四号は今日も行く。田んぼの中から声がかかる。佐藤さんはそのたびに脱帽して挨拶を返す。すっかり町民に馴染んだ馬と人の珍らしい話。溝口アナは今の世の中の合理指向精神に対する無言の警鐘のように思える。残せるものならいつまでも残して欲しいと結ぶ。

13 五月十八日 NHK 教育TV

PM四・三〇

昭和回顧録「塩の道 山村のくらし」

伊那街道仲仙道の往復。宿場から宿場への交通機関として「中馬(ちゅうま)」というのがある。これは昔、手馬といって官宮の駅通馬であった。中馬は綿、塩、葉煙草などを運んだ。長野は養蚕も盛んだったので絹織物の輸送も中馬がやったという。信州大学助教授上條氏は関東から長野へ通ずるシルクロードだったとい

う。ところが今も「中馬」をやっている人がいる。もうこの道五十年の藤田さんという人だ。馬の背による運搬は荷痛みが少なく、調宝がられてやめられない。馬は生きものだから心が通ずる。

羽織に腹がけ、脚絆にわらじ、派手な帯しめ、煙管をさしての針巻姿。今はわらじこそはかないが、このいきな姿が懐かしい。馬には馬舌をはかせ、重い荷鞍をつける。半てんには問屋のしるしをつけるのがならわし。往時は何十頭も行列をつくって行った。長野の田舎道には馬頭観音や道祖神、地藏などが並ぶ街道が多く、すずきの中を行く中馬は昔懐しい風物詩である。

14 五月二十六日 十勝毎日新聞

我がマチに「ばん馬大会」あり

十勝管内の各町村では開拓当時から

歴史を伝える勇壮な祭典ばん馬が繰り広げられているが、このばん馬大会を広く管内の住民に知ってもらおうと七町村が音頭をとって立派なポスターを作成、関係機関に配付した。

音更町東士幌は明治四十一年から続いている伝統行事、池田のばん馬はもう三十回も続いている。ことしから復活する浦幌、その他鹿追、本別、上士幌、足寄など毎年開催で地元民に親しまれている。

15 六月一日 さっぽろ広報 南区版

「札幌祭に三十年」  
札幌市中央区宮の森三〇五の石川敏さん(五十四)は毎年六月十六日の札幌祭に馬を供出すること三〇年という奇特な人である。神様と馬との縁は古来欠かせない間柄となっている。「行列で暴れないように、ポロを出さないように三、四日

前から馬を養育さんです、可愛そうだけども」とは、さすがベテラン石川さんの弁。

16 七月一日 毎日新聞

「北の職人展」に馬

野幌の北海道開拓記念館では、本道の開拓に大きく貢献しながら目立たぬ存在だった「職人の世界」を広く紹介しようと、七月一日から「北の職人」のタイトルで特別展を催した。

展示の構成は(一)日本と外国の職人(二)馬具(三)蹄鉄(四)、車そり(五)和船(六)のこ(七)ブリキストーブなど一〇テーマ。馬具はアメリカから技術が導入され、北海道向きに改善がかわえられ伝統技術の一部今なおばん馬関係に生かされている。また蹄鉄はドイツから導入、馬そりはロシアから開拓使が持ち込んだ。馬そりは全国的にみても先進地といわれるほど発達し、札幌型、函館型といったふうに各地特有のパターンが定着した。特に実物と寸分たがわぬ様式と製作技術で製作された三半橋(ニシン場)の大型漁船)や馬そり、馬車に見物人の人気を集めた。

17 七月六日 NHK TV

AM七・三〇

NHKのレギュラー番組のひとつ、新日本紀行はこの日造材作業に構出す馬の姿を描く「双冠の画集」を見せる。

二十数年間本材を山から運び出す労働にはげむ馬……。一日概ね十往復、工場までの道は険しいが汗にまみれる馬の



# 十勝祭典ばん馬大会

## 開催日程

月	日	場	所	月	日	場	所
6月	15日	池田	町	9月	15日	足寄	町
8月	17日	鹿追	町	9月	19日	本別	町
8月	18日	浦幌	町	9月	20日	上士幌	町

ばんば大会のPRポスター

顔は愛らしいと二人は馬を追う。そのほかいろいろな馬、草をはむ馬、山羊をひく少女と馬、たんぼぼ、農家、山、川と馬三年から五年がかりで二人は絵本つくりにはげむ。

18 七月六日 HBC TV

PM六・〇〇

NHK TV

PM七・〇〇

「置戸の人間ばん馬」

置戸町の青年達五人が一組になって、馬そりをひく。「人間ばん馬」は年毎に大評判。ことしは五〇チームが参加した。

馬そりの上に丸太を積む。高さ一メートル位、直線三〇〇メートルから五〇〇メートルをつつ走る。コースは市街のメイン通り。二〇〇〇人の人出で埋まる。ことしは予想投票があつて勝利チームをあてるといふ余興が更に人気を呼んだ。置戸神社祭典の人間ばん馬は短かい夏の年中行事として今後評判を呼びそうだ。

19 七月二十二日 道内各放送局各新聞

「六根清浄 ときんこの富士登山」

ときんこ（北海道、和種馬）がこの夏も富士山に登山した昨年に引続き二度目、七月二十一日揃いのしるしはんでんに身をかため先頭は四時間半、最後尾は五時間かかって山頂をきわめた。これは耐久力テストと、北方領土の復帰、牛乳消費の拡大を訴え、富士山美化キャンペーンにも一役買うという企画。珍らしい倭馬ときんこの登山である。ことしの参加は北海道保存協会の恵庭、根室、道南各支

部から子馬三頭を含め計三十四頭、中には人間でいえば八〇才に相当する二十二代馬も同行した。道内に現在するどきんこは約千頭といわれ、年に二百頭位生れ

るなどを含め保存活動は全国在来馬の中でもトップクラス。農耕馬としては使われていないが山奥の宮林、電力関連、資材運搬用などに大いに働いている。



20 八月十日 STV TV

「遠くへいきたい」に珍競馬

鹿兒島南端枕崎野島海岸の珍しい浜競馬。平素は小荷物運搬に働いている馬力馬やポニー馬。大小いりませて六頭が競走する。当日はお茶や卵、果てはまむし酒をのませて必勝を期す。野島神社祭の奉納競馬に数百の観衆が集まる。人間よりおそいほどの速さ。右にきれたり左向きになったり、とまったり、遂には首に縄つけて引っぱる始末。観声、拍手喝采、愉快な競馬。

21 九月十五日 STV TV

午前のお馴染み番組ルックルックに秋

田のチビ馬（一二才）がお目見得した。七六才の森兼七さんは馬がめしより好き。どう見ても商品価値のなさそうなチビ馬に、一〇万円かけた手造りの馬車を引かせて荷物や人を運ぶ仕事をしている。チビはパンの端切れを常食のひとつとしているが売切れのときは草ばかりである。チビには仲のいい三人の子供がいて、草刈りを手伝ってくれる。車を引いているときはからだ小さいので急にはとまら

ないが、赤信号では不思議にビタリととまる。チビの軋は早い。森さんの足音をきくとヒヒンと鳴く。

22 九月二十一日 STV TV

「樽前山麓ばん馬大会」

この日苦小牧樽前山麓では勇壮なばん馬競走に一日中かん声が湧きかえった。遠く青森からやつてきたばん馬もあつて総勢七〇頭。四百キロから六百キロのコンクリート重量物を積んで、腕におぼえの猛者連が勝負を競う。馬券のないばんえいだが賞品は山のように。洋ダンスや整理ダンスが見える。これは九月二十二日午前七時のNHKニュースでも取上げている。

23 九月二十三日 HTB TV

AM十一・五〇

会津の武者祭に重ばん馬が登場。最近の武士行列にはほとんど軽種競走馬らしいのが出てくるが、この日は甲冑に身をかけたため武士達が羨しい大型馬に打ちまてがって堂々の行進をする。どこから集めたのか珍らしい重ばん馬に会津の大観衆は目をまはる。

24 十月一日

これはおどろき

少年漫画誌に

ばんえい騎手親子

実名で漫画化登場

講談社と並ぶ少年少女漫画誌の大手集英社が出版する百万部「少年ジャンプ」の十月号に、ばんえいの木村与惣治調教

師と木村卓司騎手親子物語、島田賢治作が十五頁にわたって掲載された。競馬の關係で実名で漫画化されたのはおそろく始めてのこと。集英社では昭和五十一年十一月から翌年二月までばんえいを中心にした漫画物語を少女漫画誌「りぼん」に連載したことがある。

—あらまし—

ばんえい競馬の調教師木村与惣治は、旭川市に近い深川市でタクシー会社の経営者でもある。卓司の兄、康男は父の跡継ぎとして、タクシー会社で働いている。昭和三十八年、高校を卒業した卓司は、子供の頃から父の飼っている馬にのったり世話してうちに、すっかり馬が好きになり騎手になる決心をした。父の与惣治も、康男にタクシー会社をまかせ、末っ子の卓司が騎手になることには大賛成で

あった。

ばんえい競馬の騎手になるには、調教師のもとで二年間修業して騎手試験に合



格しなければならぬ。卓司は、当時騎手と調教師の資格をもっていた父親のきゆう舎で働きはじめた。きゆう舎の朝は早い。三時半には起きて、馬の調教を始める。卓司は、父親のもとでみっちり仕込まれ、二年後みごとに騎手試験にパスした。

数年間木村親子は騎手として大いに活躍した。二人で同じレースに出ることもしばしばで、息子が一着、親が二着ということもあった。しかし、名人与惣治も年には勝てず、六〇歳になった四十七年秋、騎手を引退して調教師の仕事に専念することになった。

この頃、馬主さんが「ダイニミハル」をつれて来た。この馬は、レース中他馬にかみつく悪癖があり、最初の持ち主が手離したものであるが、与惣治は、この

悪癖さえなおせば、きつと名馬になると確信をもっていた。ダイニミハルは気が荒く、調教でもてこずらせた。レースには、まだ若い卓司は、この馬に乗せてもらえず、他のきゆう舎のベテラン騎手が乗った。しかし、悪癖がなおらず、いい成績はのこせなかった。

卓司には父が騎手を引退した時から、ひとつの夢があった。それは父の調教した馬に乗り、農林大臣賞に勝つことである。卓司は父にたのんだ。あのレースには自分をダイニミハルに乗せてくれと。父の承諾を得た卓司は、まっすぐ前だけを見て走るよう、ダイニミハルにじゃじゃんをつけて調教した。

昭和四十九年十一月三日、いよいよ農林大臣賞の日である。この日の岩見競馬場は、朝から雨がパラつき、ダイニミハルにとつて苦手の軽馬場になった。軽馬場によいダイニミハルは、第二障害までは後方におかれたが、持ち前の足腰の強さで、第二障害をトップで通過しそのままゴールイン。ついに父も勝つことが出来なかつた農林大臣賞を、卓司は見事に父の調教馬で勝った。

その後卓司は、父の調教した馬で五十一年と五十二年連続して農林大臣賞典を勝っている。功成り名遂げた与惣治は来年六十八歳で調教師の定年をむかえる。引退後のんびりが二でも飼ってくらそうかと思っている。卓司は今が騎手としての全盛期だが、いずれ騎手を引退したら父のような素晴らしい調教師になる

うと決意を燃やす。  
25 十月四日 NHK TV

AM 七・二九

「牧馬の里帰り」

滝川市宮放牧場に預託されていた牛馬が五月から九月まで五ヶ月の放牧期間を終つてきゆう舎に帰っている。一〇月以降は舎飼になつて風雪から守られ、平穩な肥育期に入る。若馬達は明年にそなえて調教に入るものもある。

26 十月六日 NHK TV

ドラマ「嫁っこはいねが」にばん馬

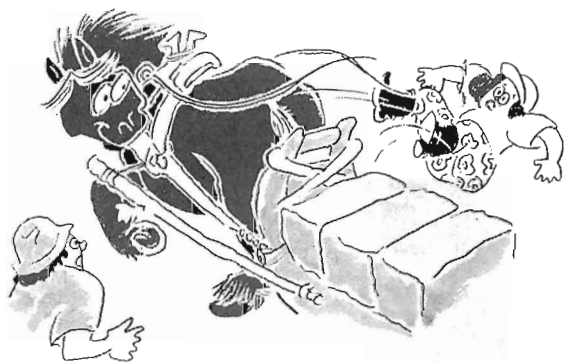
これはNHKテレビの愉快な喜劇ドラマ。津軽海峡をはさんで道南と津軽とは、古くから「嫁とり」という強い絆で結ばれているが、このドラマは現代の嫁がし物語。道南の一漁村の漁師(伴淳三郎)の一人息子(中村雅俊)が外国から帰つてきた。いとしい恋人の待つ村へ。しかし恋人は既にほかの若者と婚約している。思いあまつて有線放送で談判するがあきらめて幸福に暮せといひ残して村を出る。息子をふびんに思つた両親は世話焼き婆さんの「お人よしの息子には男まさりの娘がいい」とすすめられて池田町へ行く。そこには町の名物ばん馬競走が盛大に行なわれている。たくましい重ばん馬の競走に紅一点、勇ましく、美しい娘(木原光知子)がたくみに馬をあやつりながら先頭を追ってくる。やがて最後の障害。後続の馬も追いついて一線に並び先陣争い。娘さんが先頭を切つた。「姉ちゃん、頑張れ——ッ。」思わず叫ぶ息子の声に、

一瞬気をとられ、振り向く途端落馬してしまう。勝利はブイになる。レースは終つた。娘がこちらへやつてくる。「オイ、顔寄せ。」とすごまれ、驚く息子は原っぱに連れ出される。というわけで第一回は池田ばん馬が大きく描かれる。息子と父は、それから嫁さがしに津軽地方を歩き教人の嫁候補と逢うが結局、腕っぶしの強いこのばん馬娘と結ばれるという話。

27 十月十六日 STV TV

PM 一・二〇

珍らしい「重ばん馬の競馬」ということで毎年全国に放映してきた夜の人気番組STVのイレブンプMは、こととして早



や一〇年目。第一回は昭和四十六年九月十五日北見ばんえいのときだった。当時北見に出張中の内田元本会事務局長と中村清信調教師が出演したが、STVでは深夜の中を車で送ってくれ、北見到着は午前四時すぎという熱の入れかただった。

はほほ家まじい取り合ひせだ。  
28 十月二十二日 NHK ラジオ

AM 六・四五

そのときの出演者は司会藤本義一、マリアンヌ、評論家虫明亜呂夢、作家佐藤愛子、落語家三遊亭金馬、木嶋ドクター、北大河田教授、中央馬主安原夫人、同郷原騎手という顔振れ、第一回の11PM杯と一着賞七万円はコマヒカリ号水上騎手が獲得した。一〇年目の11PM杯特別競走は十月十二日第三回岩見沢ばんえい第三日目第八レースに行われ、尾ヶ瀬騎手のヒメサカエ号が九頭の駿足をおさえて優勝、11PM記念杯と一着賞金一四〇万円を獲得した。今回のスタジオ出演者は司会の藤本義一、秋本圭子、動物作家の畑正憲、元本会事務局長内田靖夫、ホースニュース前田量平、馬主天野勝治、芸能人として林九蔵、泉アキ、高松しげお、芹洋子の各氏。清純な歌手として著名な芹洋子さんはまたばんえいの駿足キヨヒメ号の馬主としても有名。今回の11PMは、ばんえいの文化人馬主として評判の畑、芹両氏を揃えたのが異色。芹さんは「愛馬の競走ぶりを御覧になりますか。」の問いに「いいえ、一度も……ときどき成績をしらせてくれます。」「どうして武骨なばん馬がお好きなのですか。」「あのポテツとしたところが好きなんです。」「芹さんと一屯ばん馬……なんともこれ

京都嵐山大文字のおくり火が夜空をこがし秋を送る。京釜伝統の火祭りのひとつ江戸時代の装束に身を飾つた老若男女が御祈車にゆられ馬上にまたがってしづすづと都大路をゆく。京都の時代祭り年に六八頭の馬を準備するのに大変だという。  
29 一月十五日 各放送局 各新聞

「雪煙 豪快に馬スキー」

「ハイヨーッ」雪煙をかげながら勇しく突っ走る馬を操りながら豪快にスキーを楽しむ、新春恒例の馬スキーが十五日午前札幌競馬場で行なわれた。この馬スキーは昭和一〇年ごろから始められ一時は競技会まであったという。この日の主役は同競馬場の馬術馬。中間種の富勇号など四頭と御者の長田さん、それに小中学生男女約五〇人、長田さんは同競馬場の元職員で第一回から二十四年隔も御者をつとめている。もう六十五才だがもともとスポーツマンで今後何年もつとめられると大元氣。時速三〇キロの猛スピードで豪快に駆けぬける。  
30 二月六日 NHK TV

PM 五・〇五

明るい農村

「馬肉ただいま人気上昇中」

馬の国内生産は最近上昇しており、北海道など大いに力を入れている。九州でもこのころ馬の需要が盛んで北海道からの移入だけではまかない切れず生産

に意欲を燃やしている。

ここ熊本阿蘇畜産農協では阿蘇外輪山の放牧場に五百頭を放し飼いでいる。同農協会長の山部竜三さんはすべての食糧に危機がやってくるというが、食肉も世界的に瀕渇する時期がくる、馬の国内需要は旺盛だから見透しは暗い。馬は牛、豚と異なり繁殖期が春だけなのでどんどん増殖するわけにはいかない。ただ簡単に肥育するし力と軽快さがあるので使役用としても優れている。

熊本には阿蘇山麓という天恵の草地があるのでここに半年放牧をやれば若干の希望ももてる。

馬さしは九州の名物。各都市の名だたる料理店のショウウィンドーにはメイン料理として必ずのように馬さしのメニューが並んでいる。味は美味でさっぱりとし脂肪が少なくカロリーに富み、糖質が多く女性の美味健康によい。

さて東京にも馬肉専門店がある。渋谷の和田さんの店がそれだ。馬肉料理の看板が掲げられている。お客さんは熊本大学教授堀一夫氏の食肉卸問屋の金窪悠氏。和田さんによれば馬肉料理は「馬さしとさくら鍋」に焼酎がつきものだが生でよし、あげてよし、むしろよし「馬さし、串カツ、コロッケ、ローストホースにホースステーキなど」十二種類の料理がある。さくら鍋は御存じ味噌味に限るといふ。泡の多い肉はさし身にならぬ。馬肉に泡は立たないのだ。堀、金窪両氏の話に上安平湧子アナウンサーも馬肉を頬ばって

み「おいしい……」と目を丸くした。

31 二月七日 NHK TV

AM七・三

この日は新たに制定された「北方領土の日」である。NHKニュースワイドは戦前の国後住人に話を聞く。

馬は放し飼いで自然繁殖でふえつづけて島中馬だらけとなった。牧場の中に棚をめぐらして作物をつくった。ダニにつかれた馬が痒みに耐えかねて尻を棚にこすりつけ、棚をこわして大根を喰われたこ

とや、水田を造ると穂を棚ごえに喰われ、その上木棚がこわれて大暴れとなり、大怪我をしたこともあった。反物をかつぎ

駆逐馬で島内を廻つてが素人だと見ると馬は馬鹿にこいてはね上つて振り落しまさ場に帰ってしまった。島の馬道は一米幅もない位の細道だった便利な交通機関であった。また鮭は小さな川でも背中を出して群れ、遡上し、岸が白くなるほど死んでいた。当時は九千石も獲れた。正に昆布と鮭の宝庫だったという。

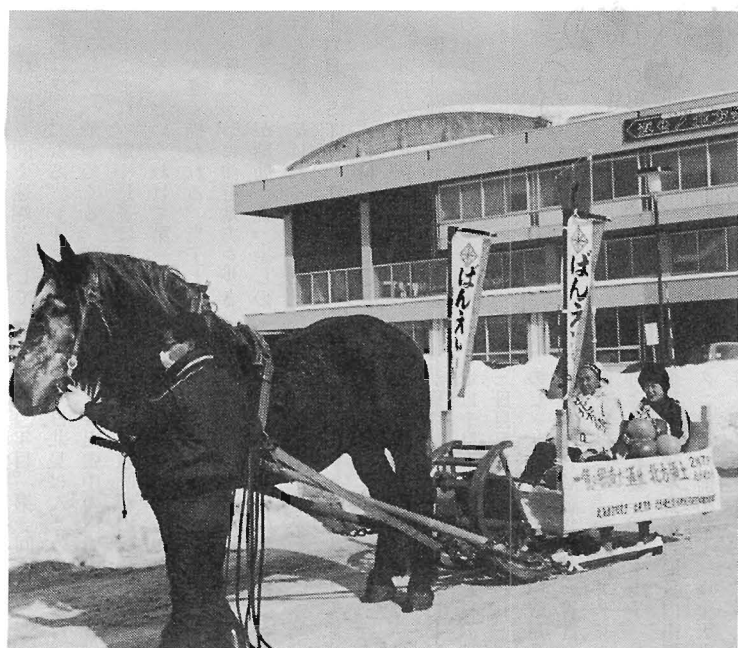
岩見沢市では、越冬中のばんえい競走馬かひと役買い、国兼岩見沢市長らをソリに乗せ、「返せ北方領土」のノボリを立て特別参加、岩見沢の市街約二キロを、北方領土は日本固有の領土です」と訴えパレードを行なった。

32 二月八日 HBC TV

AM一〇・三〇

「生きもの、ばんざい」蒙古の大競馬日本の二十六倍の広さと一〇億の民を擁する中国は想像以上の広さである。テレビは内蒙古大草原と放牧馬の大群や羊群を写し出す。今日は家畜が無事に育った年を祝って開催する「なだんむ祭」である。家畜に一番手のかからない季節を選んで一週間にわたって行われる。これはスポーツを中心とした祭典で老人も青年も少年も羊肉と麦パンを食べ酒を飲み技を競い勝負を争い踊り抜く。各選手団は大旗を立てて馬上ゆたかに入場する。観衆はトラックに鈴なりになって集ってくる。

舞踊、速歩レース(側対歩)、騎兵隊の競馬、日本のやぶさめに似た射的、疾駆する馬上から標的目がけて銃撃する。これには女性騎手の出場が多い。名物の蒙古角力では勝った男が踊り乍ら賞状を受けに行く。そのポーズは奇抜で面白い。最終日には午前六時に、少年少女の騎士達が会場に集まってくる。その数六五名、係の人達と一緒に三〇キロ先のスタート地点までは常歩で行く。その所要時間約四時間、十時半頃愈々三〇キロレースの



昭和回顧録

「ああ 軍馬 昭和十年代」

青森県八戸市に住む木村一栄氏は福井生れ。盛岡高農出身の獣医さんだが、かつての陸軍獣医将校で馬医者といった方が似合うほど一生を馬に捧げた人である。

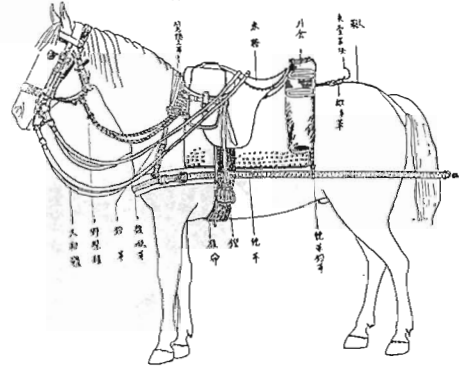
木村さんの軍馬物語。

馬はかつて貴重な労働力で作物に欠かせない堆肥源であった。受胎期間は三十三日から三十三十五日、家族の一員として明二才まで育ててから、馬市にかけられ軍馬御用(お買上げ)ともなれば踊り上がって喜んだものだ。これまで手



スタートである。一本の木もなし柵もなし、あるいはゆるやかな高低と短い草に被れた蒙古大草原である。スタートが全員のゴール目がけて突走る。大馬群が全力で砂煙を上げて奮進する。よく見ればほとんどが毛布か毛皮の鞍らしきものを置いているだけ。まるで裸馬祭りである。勿論鎧はない。早きもの、おそいもの各馬の間隔は離れてくる。先頭は芦毛馬の少年だ。他馬を大きく引き離して優勝する。タイムは四十九分五十八秒。係員は馬に乗って上位入着の者に駆け寄り着順に旗を渡す。この大レースこそ蒙古騎馬民族の祭典行事中の圧巻である。

砲兵校馬具前中馬殿馬



塩にかけて育てあとき家族と涙の別れをする。馬市に馬をひきつけてくるのは婦人が多く愛馬との惜別は誠に悲喜交々といった情景だった。一般馬は一〇〇円位だったが軍馬は平均二五〇円、最高三〇〇円位、これは一面、馬の改善増殖を奨励するため配慮した価格であった。軍馬御用は農家の名譽である。中には思わず万歳を呼ぶ者もあり、講官に深々と頭をさげる者もいた。買上げられた馬は軍馬補充部に入り軍馬としての育成と訓練を受ける。

北海道の雪中放牧は野性と耐乏の中で強健な体軀づくりに有益なものであった。馬は夜つびて雪をかき分けて態世を食べ

て生長した。丸三年間五才まで此処で暮し、各部隊に配属された。馬兵隊では軍属、砲兵輜重隊では新馬係兵士が調教し、一人前の軍馬になった。輜重隊の駄馬という語源は駄目な馬という意味だそうだが決してそんなものでなく輜重隊は戦闘に重要な弾薬、食糧、衣料、器械の運搬に従横の活躍をしたものである。

人間と同じように農馬にも赤紙(徴用令状)がきた。出征した馬は四〇万頭とも六〇万頭ともいわれるが戦後帰国したものは一頭もない。馬はたおれるまで働く忠実な戦士であった。馬と共に歩んだ五十五年、木村さんの脳離には出征中病馬廠で治療した戦傷重病馬二〇〇〇頭の姿が臉に浮ぶ。そのうち一八〇〇頭は全治して軍隊に復帰したのだがすべて大陸の土も化したと思われる。八戸の原頭に建つ馬魂碑の前で木村さんは在りし日の軍馬の姿を憶ぶのである。

「馬力まだまだ」

PM二・一〇 ニュース

34 二月十五日 NHK TV

機械に押されて最早や馬は不必要か！どっこい馬はまだ必要なんだ。北海道の南端知内町の冬山は雪深く車が入らない。ここではブナやナラの造材が盛んである。山の中腹までは斜面を利用して人力で滑走搬出し、そこから重鞍馬が運ぶ。二屯の木材をバチに積んで細い雪道を巧みに下っていく。雪がとけ出すと道が悪くなりしばしが立往生する。道南の馬の山の仕事は四月まで終らない。



# 北見競馬のある一日

その日、昭和55年10月5日曜日北見市営ばんえい競馬最終回第5日目がおこなわれる日であった。

真青に澄みわたった北見独特の秋空であったか、いまにも大きな涙粒をおとしそうな雲り空であったか、定かではないが多分後者ではなかつたらうか？



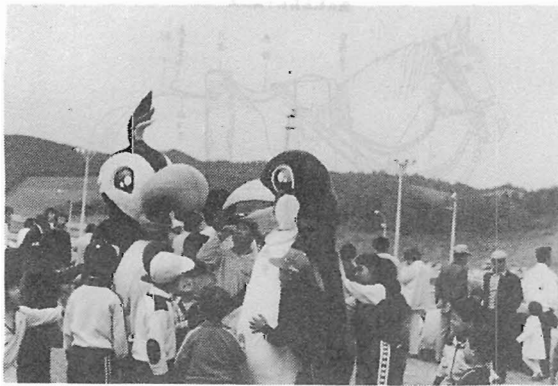
「ばんば」のおこなわれる本年最後の日曜日とあつてか朝から北見市若松にある競馬場までの道路が、いつもは20分位で来ることができると、渋滞し小1時間もかかる状態であった。スタンドの廻りは、人、人、人の群れであふれ、そんな中に、あちこちでピニールを敷いてお弁当

をつまんで憩いの一時を満喫している家族連れが、数多く見られた。

いつもは閑散としている遊園地は、この日ばかりは別で、縫いぐるみに子供の群れができ、花馬車にも長蛇の列で遊具施設も休む暇もないくらい、忙しかつたようだ。駐車場はと、目を向けると、第1駐車場2千台、第2駐車場1千台収容できるものが、すでにパンク状態であり、係員が、ちよつとしたスペースを見つけては誘導に右往左往していた。

1Rが終わり2R、そして3Rが無事終了した。フアンの歓声がやつと止んだ頃、場内放送が流れる。

「フアンの皆様にご連絡いたします。本年度限りで勇退していく北見地区出身の



調教騎手の表彰式を、これより、スタンド前におこないます。

人の波がどつとスタンド正面へ移動する。調教騎手、騎乗騎手が列に整列している。

厩務員、その他厩舎内居住者もそこにいる。

毎日好天が続いていて、その日だけは雲り空であったが、真青に澄みわたった秋空のもと本年度限りで勇退していく北見地区出身の中村清信調教騎手、平田正一調教騎手の引退式を、これよりおこないます。」と原稿に書いてあつた。

その一日前、中村、平田の両調教騎手は、現在のばんえい競馬の発展に尽力してくれた人達であるので、その苦勞に報いて引退式をおこなおうと皆んなの意見が一致し、一夜で作成した原稿であつた。

中村調教騎手（この時本人は病床に伏しており息子信和氏が代理出席）平田調教騎手二人共神妙な面持ちで、スタンド正面に立つ。

二人の経歴をアナウンスする。

「中村清信調教騎手は、明治41年3月23日、端野町で屯田2世として生まれ農業に従事する一方、昭和28年より北見ばんばに持ち馬を出走させるようになり、北見市営競馬の発展に大きく寄与してまいりました。キヨモリ号、コウリヨク号、シレットコ号、キヨチカラ号など、数多くの名馬を育て上げ、中でも、コウリヨク号で勝ち取ったメダルは数知れず、その栄誉は、当北見ばんえい記念館に永久に

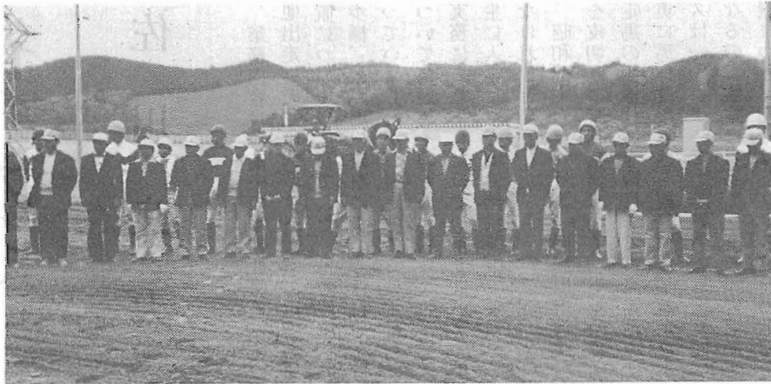


保存されることでしよう。

現在中村調教騎手は残念ながら病床に伏しておりますので今日、息子さんが代理で出席しております。」

「平田正一調教騎手は明治43年9月7日津別町の農家で生まれ、昭和28年から北見ばんばに自分の持ち馬を出走させるようになり、現在まで20数年にわたり、北見市営競馬の発展と馬産振興に寄与してまいりました。この間ニホンザクラ号、フジトップ号、シャリイチ号、シゲミツ号などの多くの名馬を育てあげ、中でもシャリイチ号で、昭和46年、47年と2年連続で農林水産大臣賞を制するなど輝かしい成績を残しており末長く、この名は残るでしょう。」

こんなアナウンスに、フアンの中から「御苦労さん長い間……。」「ゆつくり休め……。」などのたむけの言葉が矢継早に当人達に投げかけられる。二人共ずつと俯いたままである。



記念品の授与、そして花束の授与……拍手の渦……拍手の渦……

「中村清信調教騎手、平田正一調教騎手、長い間本当に御苦労さまでした。色々と苦しいことがあったことと思います。数

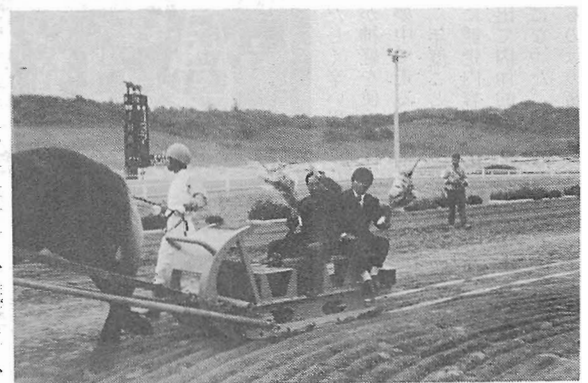
多くの悪い出を胸に秘め、勇退していくお二人には、計りしれない何かを感じさせられます……。」

「これよりお二人は中村調教騎手所属キヨチカラ号の引く馬籠に乗り、フアンの皆様に最後のごあいさつにまいります。フアンの皆様の暖かい拍手のほどよろしくお願いいたします。」とアナウンスがある。

スタンドの正面前をフアンに糟一杯の愛敬を振りまきながら、引っぱられていく。大きな拍手の渦がそれにつれて移動してゆく。平田調教騎手の顔が真赤に、興奮しているのがわかる。

バックに「螢の光の音楽が流れはじめ。拍手と歓声の合い間を縫って、「何故か馬籠を引くキヨチカラ号の姿がさびしそうに見えるのは、目の錯覚でございませうか。昭和28年当時車が普及していないころ、レースの終わつたあと、端野町、津別町まで自分の愛馬にまたがり数時間もかかって帰つたという話を聞いております。又当時馬の頭数が少なく6日間に5回も走つたこともあつたそうです。楽しかつたこと、苦しかつたこと、悔やしかつたこと、悲しかつたこと、数々の思い出を胸に秘め、本年度限りで、勇退していくお二人ですが、今後とも馬産振興に、北見市営競馬発展のため力を注いでくれることを確信しております。中村、平田調教騎手本当に、本当に、長い間御苦労さまでした……。」

フアンの顔を過ぎ、そして、整列して



送る調教騎手、騎乗騎手も、厩務員も、その他の人々も大きな拍手で、労をねぎらっている。中には涙ぐんでいる人も……。「これで勇退式を終わらせていただきます。」

この原稿を書いている今、残念ながら、あの元気を中村調教騎手の姿は、もう見られない。

昭和56年2月20日正午頃、長く短かつた人生にピリオドを打つた。

馬と共に寝起きし、喜怒哀楽を共にし、自分の人生を馬に賭けた、中村調教騎手のご冥福を心からお祈り申し上げます。

筆者 北見市役所 塚本 敏一

# 市営競馬十年を



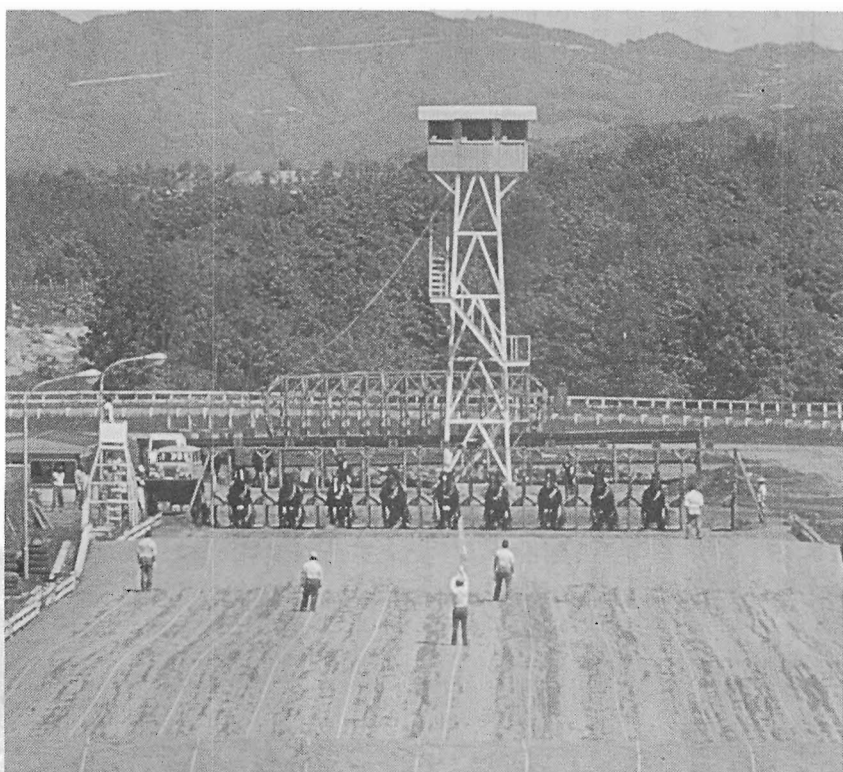
## 省りみて

佐川良太

私が市営競馬協議会囑託職員として奉職するようになりましたのは、昭和四十五年三月鹿追町農業協同組合を定年退職後十一月帯広市に転住、第二の人生を踏み出すため再就職希望四十六年三月、十勝農業協同組合連合会総務部長金元義氏より競馬場施設賃貸契約会議の際、帯広市農政課花房課長より本年北海道市営競馬協議会で獣医師資格者一名採用する計画があるので管内で適任者がいたら紹介して貰いたいとの依頼を受けているので勤める意志があれば、推せんしたい意向でしたので、私も競馬界のことは全く知識もないので勤まるだろうかと不安も感じましたが、昭和十二年より農業団体の畜産技術員として、畜産業務担当を退職まで三十三年間馬産に関連した業務経験を生かす上にも最適な職場と考え、就職方希望を花房課長を通し推せんしていただき採用となり、業務は走路審判を担当することになりました。

業務内容は競走中の審判は勿論、その他出走馬の健康状態と故障馬の出場監視処置についての任務でした。馬の健康状態歩様、故障馬の観察については自信を持っていましたが、競走中における審判については競馬そのものが判らないまま、実務に入りましたので初年度は小学一年生に入学した心境で無我夢中で勉強しなければと痛感した。

昭和四十六年六月第一回旭川市営競馬を皮切りに審判業務につく。下見所で出走馬の歩様状態を観察する、発走地点で更に馬体健康状態を観察する「競走コースは一〇コースで、未熟者には広範囲になるので観察は容易で、第一障害地に配置につき、初めは三コース位の出走馬を重点に発走状況平地障害登坂時の状況について審判を始めたが、全く一瞬間の出来事が多いので未経験者には直感的判断を下すことは全く出来なかった。これもレースの実務を重ねることにより視覚と



発走、一瞬緊張がみなぎる

ポイントを捉むことに専念した。

走路は発走地点よりゴールまで直線コース二〇〇米に、砂が敷れているなかを発走後競走馬の後を第二障害まで、競走中における瞬間的な事故を観察しながら、砂上を駆足で歩行する一歩前進して半歩後退する感じ、足にかかる負担が大きい

ため、初年度は肉体的特に足の疲労が甚だしく辛い思いをした。何も判らない者が神経を使い身体も自然に硬くなり無我夢中で走るのがよく堪えたと思う。

年度ごとに経験を重ねる内に業務並びに競走内容を習得するにつれ、ゆとりが出て肉体的にも足の疲労は半減するようになった。初めは誰れでも体験して感ずるのは実務担当者でなければ味わえない

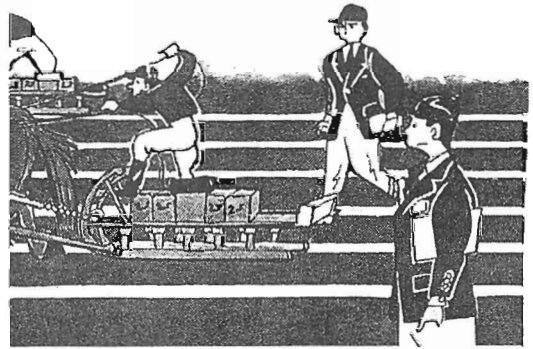
ことと思う。

当時の審判員は元小路口専門職、現車岡係長、中村係長、穴吹係員で、先輩の指導と支援を受けながら各審判員の後に残っている状態で、全く私はロボットの存在で本当に足手まといとなり、大変迷惑をかけたことと思う。また、競走内容修得は勿論のことですが、調教師騎手の氏名を覚えることと、騎手の駆法の仕方についても重点的に勉強し、その年の競馬終了時でようやく自信を得た様に思ったが、年度を重ねるうちに新たな事故発生が生ずるに従い自信を失なうことが再三あった。なほ、競走中における各騎手の個有駆法動作を熟知することが大切である。駆法動作には各騎手の癖があり、動作の大きいもの、動きの小さいもの、特にゴール前の接戦のときの追込には、独自の動作が著しく現れる。それが全能力駆法のポーズであるので、各騎手の動作を記憶し観察する。競走中の駆法の相違有無を監視するのが走路審判の重大任務であると思う。

私は体験三年目で相当自信を得たと思っていたが、ベテラン騎手の駆法に疑惑を持たれる様な動作が見受けられる場合があるが、直感的に判断に苦しむことが多かった。本当に難かしいものと痛感した。

競馬の公正運営を期するには、第一条件として競走現場の走路、競走用鉄籠と積載重量物を完備することである。

走路については開催前日の朝点検監視



駆法動作を監視する審判員

物の中味コンクリートの抜取り不正工作されたことにより、旭川警察署で刑事事件として捜査され、現場関係者の一員として岩崎・穴吹両技師と共に、北見警察署で犯人扱いで厳しく追及取調べを受けた事である。ぼんえい競馬始つて以来の一大不祥事件である。

次は、帯広市営競馬で農林大臣賞の重賞レースが開催された時である。その日は薄ら寒い曇天日であった、第四レース終了後からファンの気持が少し荒れている雰囲気であり、第六レースの着順で本命の馬が着外になったのを八百長だと騒ぎ出し、ファンの群集心理を煽り立て、場内整理本部に四、五十名押掛け乱入し、納得するまでレース続行中止と騒ぎだしたが、発走時間を遅らしてレースを続行、ファンは益々興奮しレース成立阻止する雰囲気ありとの連絡があり、岩崎発走委員と小路口走路審判委員との協議の上、万一場合の体制を取り第二障害に小路口委員が配置につき、ファンファールが鳴る、岩崎発走委員発走台上に上り観衆の方を凝視しながら発走合図するチャンスを見てゲートを切ると同時に観席より三名のファンが柵を乗り越え走路に向って走り寄り、その中の一人がゴール中央附近まで進入した時、刑事が突入し体当り走路外に引き出し逮捕したが、その時は全馬第二障害登坂最中で、心中穏やかならずいかに処置すべきか考える暇もない状態であった。無事全馬ゴール成立し安堵しながら引上げる。他の二人は走路の

入口で刑事と各審判員に対し、罵声をかけ、前を通り抜けようとした処、突然私の袴袴をつかみ、審判何を見ているのだと四、五回小突かれた処を刑事に押えられたので別に怪我もなく無事に済んだことである。この時は機動隊の派遣要請警備についた大きな騒擾事件であった。

いかに主催者ならびに関係者が公正競馬運営対策を樹てても、一部のファンにより一般ファンの群集心理を利用煽動し、騒擾を起させることは、競走中におけるファンの信頼を欠く駆法が原因になると思う。

走路審判担当者には常に細心の注意と熟知した監視を堅持し、関係者は一丸となつて妨害的不正工作ならびに騒擾を防止するよう、主催者と観衆関係者と緊密に連絡を取り、自衛意識の昂揚をはかりファンの理解と、信頼を得るよう公正化と運営強化による以外にないと思う。

私が競馬業務担当当初は調教師騎手職務員は一般に職業柄気性の激しい人が多く、主催者の指示に対し協力を要請しても、なかなか了承を得られず軌道に乗るまで長期間要することが多かった。遠年競馬の状況が変るに従い、ファンの人気も高まるにつれ、主催者に対する施策に対し理解が深まると共に協力体制が組織化され、現在は全面的に協力されるようになったことは、誠に喜ばしく感ずるものであります。ぼんえい競馬も年々騎馬投票券発売額が順調に伸びていることは、主催者の永年に互る努力がファンの信頼

を高め、大衆の娯楽として益々定着して来た結果であると思う。今後も現状を冷静に直視して、主催者は勿論、調教師、騎手はなお一層の緊密化をはかり、公正確保を第一として主催者は施策を講ずることが肝要である。

私も市宮競馬十年間、関係者と苦業を共にして微力ながら期待に添うよう心掛けて、先輩方に特段なる指導と支援を賜わり業務に当って来たが、期待に添えられなかったことが残念に思う。

特に五十四年より二カ年間走路責任者として走路監視委員を任命され、業務に当って来たが職場担当各位の指導とご支援を賜わり同職の高野、三浦、川岸監視員ならびに各調教師、騎手の全面的協力により無事平穩に任務を終了させて頂き深く感謝すると共に心から厚くお礼申し上げます。

最後に走路監視担当者として要望したいことは、走路の防塵施設対策である。他の施設については、逐年改善されているが走路防塵については過去十年間話題となり、研究も重ねて居りますが設備資金と散水の均衡化ならびに騒擾させる原因となる恐れがあることにより、対策が遅れているように思う。然し現在は写真判定に支障ないように、ゴール前二〇米位散水機で散布しその効果成績について実験済みである、砂塵は乾燥度が高まると極端に増大し、前方不明確により監視困難となることが多い、また、ファンが楽しみにしている観戦時に、競走状況も

不鮮明であり、ファンサービスにも反すると思う。競馬の基本は競走馬騎手、調教師の人材と、完備した走路施設によって成立されているので、人畜保健衛生管理面から見ても、全走路に散水機の設置するよう防塵対策が急務であると思われる。

また散水後の砂中湿度により、競走タイムに影響があると思うが、積載重量物の調整により解決されるのではなからうか。走路の構造については、改善され排水も充分に行われるようになった。然し砂質は地域により異なるので均一化は至難と思うが、出来る限り泥土を除き、良質な洗砂を吟味活用することにより、ある程度は均一化されるのではないかとと思う。散水は、開催前日に充分に放水すれば浸透も良く、表面の湿度も平均化され余り湿乾の差が現れることは少ないと思われるので、本腰を入れて防塵対策に取り組んで戴きたい。

過去十年振り返って見て、公正確保執務体制の強化、機械化ならびに競走用具走路構造の改善対策が進み、その効果が現れファンの信頼度が高まると共に売上金の向上と実績を挙げ現在に至ったことは、関係者の一員として喜びを感じるものである。ばんえい競馬の根幹は、馬産振興対策と優良競走用馬資源の確保に合せて、ファンの信頼と人気を高める施策を講ずることが北海道独自のばんえい競走の人気となるものと思っておりますので、今後益々の御繁栄を心から祈願いたします。

## 三才馬体重調

(1) 体重別による能力試験合格率

三才馬は四五九頭が試験を受け二〇二頭が合格している。表1に見るように、やはり体重の重い方が合格率がよい。なお、馬体検査時の体重が一番重かったのはハイスビードであり、この馬は、本年度九七六万円の賞金を獲得し、三才馬のチャンピオンとなっている。

表1

馬体検査時重	合格	不合格	計	合格率%
900以上	18	5	23	78.3
850~899	39	23	62	62.9
800~849	80	65	145	55.2
750~799	53	105	158	33.5
700~749	12	54	66	18.2
700未満	—	5	5	—
計	202	257	459	44.0

(2) 体重増減と成績との関係について

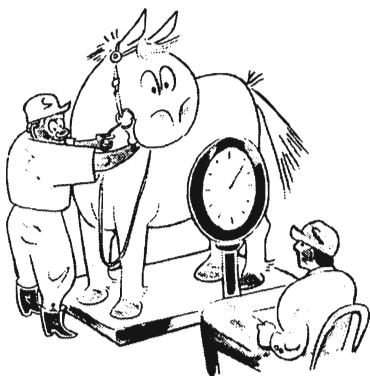
三才のレースは三〇九レースが行なわれ延二、八二二頭が出場している。一着同着が一回あったので、一着馬は延三三〇頭いる。

表2に見るように一着率は、体重が増える程よくなっているがプラス三〇キロ以上では、三十二頭中一着二頭で率が悪くなっている。マイナス一〇キロ以上と

表2

馬体重増減	延頭数	1着	1着率(%)	最後着	最後着率(%)
+30以上	32	2	6.3	1	3.1
+20~+29	110	19	17.3	11	10.0
+10~+19	478	59	12.3	49	10.3
0~+9	1,265	149	11.8	137	11.8
-1~-9	692	66	9.5	82	11.8
-10~-19	204	14	6.9	22	10.8
-20~-24	21	1	4.8	2	9.5
-25以上	19	0	0.0	5	26.3
合計	2,821	310	11.0	309	11.0

なると大分悪くなり、マイナス二〇キロ以上は四〇頭と数も少ないが一着馬は一頭しかない。逆に最後着率はマイナス二四キロまでは一〇%程度で大差ないが、マイナス二五キロ以上となると二六・三%と大巾に増加する。



# ばんえい便り

## 1、臨時市場今年も盛況

馬主会主催の臨時市場が、能力検査終了後開催されていますが、今年も盛況で一四七頭売買成立、能力のない雄馬は肉資源と雌馬は繁殖用に高値で売れた。

雄馬一二四頭中

最高一八二万円

最低 七五万円

平均一〇六万円

雌馬二三頭中

最高二七〇万円

最高 八五万円

平均一八〇万円

雌馬は三〜五才の若馬に人気があり最高馬は三才であった。

## 2、日刊スポーツツリーディング騎手賞

日刊スポーツ社では、ばんえい競走の健全な発展を願い本年度から、「日刊スポーツツリーディングジョッキー賞」を設け、優秀騎手を表彰された、賞は本会の選考基準に準じ、一位から五位までの騎手に賞状、カップ、副賞として高級時計が贈られた。

第一位 金山 明彦

第二位 西 弘美

第三位 尾ヶ瀬 富雄

第四位 木村 卓司

第五位 水上 勲

## 3、二才馬せり市場価格

本道農用馬の主産地である、十勝、北見、釧路、根室の各市場における二才馬せり価格は

取引数八八〇頭

最高 八一〇万円 (北見雄)

最低 七二万円

平均 一一八万円

で前年比約七%増の好成績であった。

特に雌馬の高値が目立ち、地区別最高は十勝四〇二万、北見二九三万円、釧路四〇〇万円、根室一九二万円であった。

## 4、タカラコマの産駒一日、四勝

農用馬の種雄馬は道内に約二〇〇頭飼養されているが、一頭の種雄馬の産駒が一日に四頭も一着となったのも記録でなからうか。

## 第一回旭川競馬第五日

第一R 三才キタノミカサ

第二R 三才カゲシンザン

第三R 三才オパール

第六R 四才五才プレス stake シンバ

5、一人一日購売額五万円突破

年間の一人平均一日購売額が五〇二三一円となり、五万円の大台を突破してしまった。全国平均は三九一九八円なので、それを一、〇〇〇円も上回り、ギャンブル性が強いことはあまり喜ばしいことではないが、中穴統出で一発がきくばんえいの魅力なのかもしれない。

また、本年最終日の十一月十日は、前日からの降雪と、当日のみぞれ混りの悪天候の為、入場者は四、七八六名に留まったが、売得金は、三億九三三二万円で一人平均一日購売額が、八二、二二四円の新記録となった。

## 6、早く追いつけ岩見沢

平地とばんえいはどうしても比較され

るが、旭川、帯広は大きく水をあげたものの、岩見沢はまだ平地に追いつけない。過去5年間の一日平均売得金を比較してみると、岩見沢だけが平地の九一%と下回っている。

五六年度は何とか追いつきたいものである。

平地の一日平均売得金を一〇〇%とすれば、次の表のとおり、

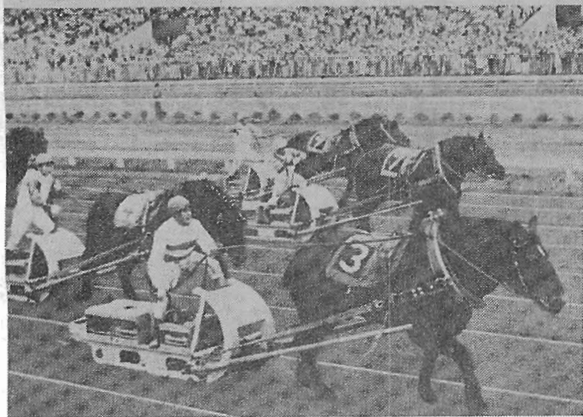
	旭川	帯広	岩見沢
51年	% 131	% 127	% 60
52年	181	122	67
53年	152	136	77
54年	180	136	87
55年	199	166	91

## 7、岩見沢でも一レース一億突破

ばんえい競走の最高峰レースである農林水産大臣賞典競走において一レースの売得金が、一億二、七六九、八〇〇円のレコードを作った。

一レース一億円以上は、これで五十三年の北見、五十四年の旭川に続いて三回目である。

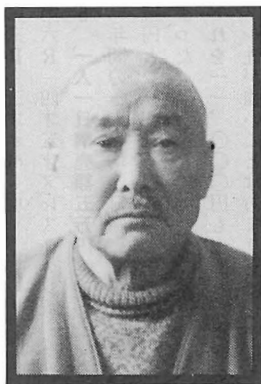
# ばんえい不景気知らず



8、念願達成の色々  
ばんえい競走として、今までそれぞれ一つの目標を立てて開催してきたが、今年には四つの目標が達成できた。  
売 得 金 二五〇億円突破  
入 場 者 五〇万人突破  
一 期 売 得 金 一〇億円以上  
一 日 売 得 金 一億円以上  
まだ達成できないのは、  
四場共に一レース一億突破（帯広）  
四場共に二期二〇億円突破（帯広・北見）

9、新人騎手で三八勝の大記録  
今年の新人騎手は西弘美騎手一名であったが、その活躍振りは、ベテラン顔負け  
二七四戦 三八勝  
勝 率 一三、八七％  
で本会のリーディングジョッキー賞第二位に輝き、過去新人年間最多勝記録二五勝（岩本利春騎手）を大中に更新した。  
10、中村清元調教師逝く  
昨年春から、肺を患い入院し闘病生活

を送っていましたが、七三才の年令には勝てず二月二十日ついに帰らぬ人となりました。  
中村さんは、ばんえい競馬草創当時から活躍した人で特に地元北見競馬開催では中村さんの世話にならなかつた人はいないといわれたものでした。  
又、雌馬の育成には人一倍の情熱をそそぎ、「コウリョウ」「エリコ」等後世に名を残す名馬を出しております。



初期の馬主調騎会役員の人として今日のばんえい競馬発展の礎となり、大変御苦労されたことを知っている者にとって惜しむにあまりあり、深く哀悼の意を表します。

11、二才馬で八一〇万の高馬

七月三十一日北見市場で開催された二才馬せり市でばんえい史上最高価格の八一〇万円でせり落とされた二才馬が出現し話題となった。

馬名サクタロー号 雄、青毛  
父ベル 二世ロッシーニ  
母ベル 宝明

母宝明は、昭和四十八年の農林大臣賞典優勝馬カツタロー号の母馬である。

12、ニュージールランドからお客さん  
ニュージールランドのタウランガにあるブレンティ競馬クラブの会長を務めるロバート・シルソンさんが、ご夫人同伴で旭川競馬場を訪れた。  
シルソンさんは昭和五十一年岩見沢競馬場に一度来たことがあり、これで二度目の来訪で、すっかりばんえい通になったようです。



13、旭川市でPR映画

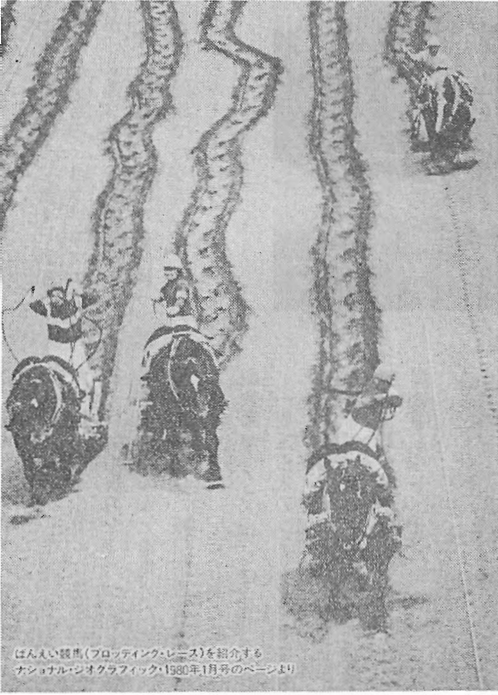
岩見沢市に次いで旭川市がPR映画の第二弾を作成した。

「旭川ばんえい競馬」と題したこの映画は16ミリカラー、上映時間約22分、制作三〇〇万円、制作は札幌の北海道放送映画KK馬体検査に始まり能力検査、調

教風景、実際の競走等、春から一年かけて撮影されたもの、旭川市の観光映画として活用し、また北海道物産展などで上映するほか、競馬場の場内テレビでも放映する。

14、米国に紹介されたばんえい

アメリカで最高の発行部数を誇る家庭雑誌「ナショナル・ジオグラフィック」の一月号の特集記事として、日本最後の開拓地北海道が取上げられ、その中でばんえい競馬が風土の生んだふるさとの風物詩として世界に例のないユニークな競走として詳しく紹介されました。



ばんえい競馬(フロッティンク・レース)を紹介する  
ナショナル・ジオグラフィック1980年1月号のページより

Beside the museum stands in 1973 to celebrate the centennial of the centennial of the pioneers. It has been minor tremors of protest in years. To Japanese, the totem poles symbolize a century of many Ainu, they represent a of domination.

Perhaps 20,000 people of Ainu heritage. Estimates of individuals range from a few none. Some scholars have in canon strain in these birch people, while others argue t. Mongoloid stock.

Discrimination is a real many in marriage. Japanese times go so far as to hire a dot on the background of a poorer society ancestry usually ends jobs, lack of opportunities sometimes leaves few alternatives cutting or carving wooden tourist-trap kotan, small A. dubious authenticity.

An Ainu Ching to H

A different sort of kotan Shigeru Kayano's house at B creation of a man struggling handily to shield the flicker Ainu heritage.

On a few occasions his kot have been the scene for Ainu marriage ceremonies, pecc as honestly as possible from research among the elders w her. Hope mingles with bi speaks of the lack of official efforts to preserve a language and a handful of others still.

Life one learns quickly, kindergarten where both Jap children would learn our ton day would be enough. We written language, so once the gone, there's nothing left.

Once in Alaska I saw Ed

15、プラットホームにばん馬  
国鉄岩見沢のプラットホームに四月十日実物大の黒光りした一屯もある木彫りのばんえい競走馬が競走用鉄そりを引いてお目見え、お客さんの度肝を抜き同駅の名物となった。

岩見沢市と岩見沢駅のアイデアの結晶であり、ばんえいのPRと岩見沢観光の目玉にするのが狙い。

製作費二五〇万円と競走用そりは市負担、馬具一式は馬主会長松浦慶三氏が寄贈し岩見沢駅にプレゼントしたものである。

# 屈強な男たち挑む

## 見物客、手に汗握り声援

# 人気馬ばん人間力闘

### おけと夏まつり



ばんえい競馬は、札幌市の中心部を走る、長さ約400メートルのコースで、馬と人間の力闘が繰り広げられる。見物客は手に汗握り声援を送る。この競馬は、北海道の文化を伝える重要な役割を果たしている。

この競馬は、札幌市の中心部を走る、長さ約400メートルのコースで、馬と人間の力闘が繰り広げられる。見物客は手に汗握り声援を送る。この競馬は、北海道の文化を伝える重要な役割を果たしている。

16、人間ばんば各地で人気  
道内各地で開催されている「お祭ばんば」や「地元のお祭」の余興として馬ならぬ、人間がそりを引っぱる競走が盛んに行なわれています。

屈強な若者七、十人で一チームを組み一〇〇〜二〇〇米の距離を引っぱる競走で、力自慢の若者達も、悪戦苦闘、疲労コンバイ、競走中止もでる始末とか、しかし見物にきた家族連れには大人気の由、ばんえい競走の盛んな北海道ならではの風物詩として増々盛んになりそうです。

17、婦人専用トイレの新設

道内の競馬場で最初の独立した婦人専用トイレが北見競馬場に新設され、ご婦人方の好評を得ています。

道内でも最も女性と子供の入場者の多



い北見競馬場ならではのクリーンヒットであった。



18、おなかの大きいご婦人も  
昔からおなかの大きいご婦人と競馬に  
来ると馬券が良く当ると言うジンクスが  
ありますが、女性ファンの多いばんえい  
競馬場では時々見掛ける風景です。きつ  
とばん馬の様に健康でたくましく、そし  
て馬ずきの赤ちゃんが生れることをお祈  
りします。



19、縫いぐるみの登場  
北見競場の遊園地は子供に大変人気があるが、今春の競馬から、スプリング式木馬が6基新設され、また日曜日には、パングやニワトリの縫いぐるみが登場して子供達の人気の的になり、学生アルバイトもクタクタになっていた。

20、旭川冬まつりのシャンシャン馬そり  
二月五日から八日まで四日間開催された「旭川冬まつり」に例年のように、ばんえい競走馬のシャンシャン馬そりが登場、子供達の人気を集めた。

七年間続けた藤川晴雄調教師からバトンタッチを受け、新人調教師の三浦孝幸調教師が、タワイサミ号とボニーを提供。一周三百米のコースを乗せてもらう時間より順番を待つ時間の方が長いにもかかわらず、寒い中を長蛇の列が続く程人気は抜群、時間延長の大サービスで馬も調教師もヘトヘト。



### 農用種雄馬（ばんえい馬）購買馬名簿

馬名 (旧馬名)	品種 毛色	生年 産地	父 血統	母	体高cm 胸囲cm 管囲cm 体重kg	競走成績	勝数	出走数	購買価格 配置先
							取得賞金 千円	千円	
イイモンジ (栄 竜)	半血(鞍) 鹿毛	昭 46 標茶町	重半松	栄	167 240 28.0 1057		23 160	23,689	600万円 十勝農協連
ミクロン (第二オミクロン)	半血(鞍) 栗毛	昭 46 上士幌町	ブルオミクロン	宝	176 240 29.0 1010		15 136	14,135.5	560万円 根室生産連
ブラックパンサー (天 都 山)	ベル系 青毛	昭 46 網走市	ベルアプレス	姫	172 240 28.0 1020		19 140	17,814	540万円 十勝農協連
ユウリキ (清 鯉)	半血(鞍) 鹿毛	昭 49 幕別町	ブル鉄	鯉	168 234 28.0 960		8 85	6,678	400万円 上川生産連
カツエイ (トウホクメジロ)	半血(鞍) 鹿毛	昭 47 音更町	重半晏	栄	168 230 30.0 956		14 136	19,674	350万円 ホクレン 俱知安支所
サダハヤテ (包 栄)	半血(鞍) 鹿毛	昭 48 石狩町	ベル大	宝	170 240 29.0 1005		14 93	5,863	300万円 熊本県 阿蘇畜協

日本馬事協会は、十一月十一日岩見沢競馬場で、ばんえい競馬場から、種雄馬を六頭購買した。  
北海道の農用馬生産の比重が、ばんえい競走から還元する種雄馬の数も今年から大巾に増加され、産地における活躍が期待されることである。

## ばんえい競馬からの種雄馬購買

# 三才馬の種雄馬成績

昨年度の登録頭数五六頭に  
対する供用種雄馬は一〇七頭で  
あったが、本年度も略同数の五  
六四頭に對し一〇五頭であつ  
た。

能力検査合格率は、合格馬八  
頭増の二〇二頭であつた為、一、  
五%増の三五、八%に上昇し、  
外国産馬個人有がベルジャンニ  
頭の活躍で四二、二%でトップ  
になったが、競走経歴馬四一、  
〇%で第二位に下つたとは言え、  
平均合格率を大中に上廻つてい  
る。

合格率ベストテンを見るに、  
昨年トップのジャンデユマレイ  
号(昨年六二、五%)は第四位  
に下り、競走経歴馬で二年目の  
タカラコマ号は、その合格率七  
七、一%の驚異的合格率で第三  
位からトップに躍進し、競走経  
歴馬のヒタチオー号もベストテ  
ン入をはたし第七位となった。

また、銅柑、ボールルの台  
頭も目覚ましいが、昨年第二位  
の二世ロッシーニは登録頭数こ  
そは四三頭と多いが、合格率が  
下り、やっと九位に留つた。

競走経歴馬で初仔を出産させ  
た、ダイニアンテン、カイジン、  
トカチマルの三頭は、登録頭数  
こそ少ないが高い合格率を示し、  
今後の活躍が楽しみである。

(表1) 昭和52年度供用種雄馬産駒能力検査合格率調

産地	所有者	種雄馬数	登録馬		能力検査合格馬		合格率	備考
			総頭数	1頭平均	総頭数	1頭平均		
外国産	馬事協会	15	74	4.9	24	1.6	32.4%	
	個人	6	45	7.5	19	3.2	42.2	含農協有
	小計	21	119	5.7	43	2.0	36.1	
内国産	馬車協会	37	221	6.0	71	1.9	32.1	含国有
	個人	16	68	4.3	24	1.5	35.3	含農協, 道有
	小計	53	289	5.5	95	1.8	32.9	
	個人競走経歴馬	31	156	5.0	64	2.1	41.0	含農協馬事協会
合計		105	564	5.4	202	1.9	35.8	

(表2) 昭和52年度供用種雄馬、能力検査合格率ベスト10 (55年度3才馬合格5頭以上)

順位	産地	種雄馬名	種類	毛色	年令	血統	登録頭数	合格頭数	合格率	所有者	供用地	備考
1	内国産(競走経歴)	タカラコマ(家宝)	半血	鹿	10	ブル重系 ケルネヴェース 宝	48	37	77.1	農協	十勝	
2	内国産	銅柑	ブル	栗	10	ブル 鉄鯉 オリーフ	12	7	58.3	国有	釧路	
3	外国産	ボールル	ベル	青	13	ベル ルビ ジュンシーブ	15	8	53.3	馬事会	釧路	
4	外国産	ジャンデユマレイ	ベルジ	栗	7	ベル サニーファーサー マーキゼット	14	7	50.0	農協	十勝	
5	内国産	産日	ベル	青	9	ベル ベル ボンシエー 海日	15	7	46.7	北海道	日高	
6	内国産	楓朝	ベル	芦	10	ベル タンブー 朝祿	22	10	45.5	国有	網走	
7	内国産(競走経歴)	ヒタチオー (第二ロッシーニ)	ベル	青	11	ベル ロッシーニ 第十三乙姫	11	5	45.5	個人	胆振	
7	外国産	マルセンストロングホース	ベルジ	栗	6	ベル コントリービューター ベル ジャネットスルムドファルクール	11	5	45.5	個人	胆振	
9	内国産	二世ロッシーニ	ベル	青	12	ベル ロッシーニ 明雪	43	17	39.5	馬事会	網走	
10	内国産	第二オデオ	ベル	青	11	ベル オデオ ベル系 ガフ栄	27	7	25.9	馬事会	十勝	

(表3) 昭和52年度供用競走経歴種雄馬産駒成績(合格2頭以上)

馬名	年令	種類	血統	登録馬	合格馬	合格率	出走年度	引退年令	引退時通算 受賞額	勝利回数	最終格付	馬体重	備考
1 タカラコマ	10	半血	ブル重系 ケルネヴェース 宝	48	37	77.1	45~49	7	16,354,000	31	オープン	997	
2 ヒタチオー	11	ベル	ベル ロッシーニ 第十三乙姫	11	5	45.5	44	3	173,500	4	3才	986	片眼馬申込拒否
3 ビホロテンリュウ	6	半血	重半 ブデン アノ系 第三興	11	4	36.4	49~50	4	676,000	2	4・5才	940	
4 ダイニアンテン	13	半血	重半 重半 第13グラウト 玉姫	11	3	27.3	43~51	12	9,334,500	34	750万円未満	856	
5 ソラチオー	7	ブル系	ブル アルフォル 呂山	7	3	42.9	48~50	5	1,759,000	6	4・5才	1,019	
6 カイジン	12	半血	重半 重半 玲珠 紅泉	4	3	75.0	43~51	11	5,903,600	32	450万円未満	854	
7 トカチマル	13	半血	ベル 重系 陽山 マサノ	3	2	66.7	44~51	12	5,903,000	20	450万円未満	914	

(1) 競馬場別入場者調

競馬場	総入場者 (含15才以下)	入場者 (有料・無料)	男性	女性	子供 (15才以下)
旭川	151,370名	142,956名	121,570名	21,386名	8,414名
帯広	135,607	126,725	107,901	18,824	8,882
北見	118,857	109,995	91,102	18,893	8,862
岩見沢	164,223	155,804	136,250	19,554	8,419
合計	570,057	535,480	456,823	78,654	34,577
有料無料比率		100%	85.31%	14.69%	
総数比率	100%		80.14%	13.80%	6.06%

※ 1岩1日目子供130名、1旭1日目子供146名は推定数である。

(2)競馬場別女性・子供入場者比率

	総入場者 (含15才以下)	男性	女性・子供	1日平均入場者 前年対比
旭川	100%	80.31%	19.69%	107.0%
帯広	100%	79.57%	20.43%	112.8%
北見	100%	76.64%	23.36%	114.4%
岩見沢	100%	82.97%	17.03%	102.8%
合計	100%	80.14%	19.86%	107.5%

(3) 開催日別女性・子供入場者比率ベスト10

順位	月日(曜)	競馬場	男性	女性・子供
1	9.25(日・祝)	北見	70.37%	29.63%
2	7.6(日)	〃	70.43%	29.57%
3	9.21(日)	〃	70.54%	29.46%
4	6.22(日)	〃	70.66%	29.34%
5	9.28(日)	〃	71.99%	28.01%
6	9.15(祝)	旭川	72.49%	27.51%
7	10.5(日)	北見	72.56%	27.44%
8	9.7(日)	旭川	72.95%	27.05%
9	5.18(日)	〃	73.36%	26.64%
10	6.15(日)	北見	73.52%	26.48%

本年度競馬場別入場人員の統計をみるに、年間入場人員(含十五才以下)の約

二〇%が、女性と子供でありました。年々家族ぐるみの入場者が増加する傾

# 女性と子供の多いファミリーばんえい

向が見られていますが、他場の統計資料がなく、比較検討することができませんが、全国のトップクラスでないかと推察できます。  
特に日曜、祝日の北見競馬場は、入場者の約三〇%が女性と子供で占められ、全国一のファミリー競馬場でなからうかと自負している次第であります。  
また、一日平均入場者の前年対比上昇

率と比較して見ますと、上昇率の良い順番(北見、帯広、旭川、岩見沢)と、女性、子供の入場者比率の高い順番が一致しているのも、何か深い関係がありそうなので、今後も家族揃って気軽に行ける楽しいばんえい競馬場に育てることが、ばんえいの隆盛に密接な関係があるものと推察できます。

# 各地の祭典ばんば

本会の祭典（記念）ばん馬競走保存奨励事業発足以来九年目に入り、各地からの申請件数も年毎に多くなり、今回は23件の申請があり各主催者の熱の入れようがうかがわれます。

今後市営ばんえい競走発展のためにも奮って祭典（記念）ばん馬競走を開催し馬産振興にご協力下さい。

祭典（記念）ばん馬競走も珍競走あり、市営ばんえい競走も顔負けする競走あり、競技もバラエティーゆたかな競走内容が多く盛り込まれており、ここに各主催者から送られてきた終了報告をもとに紹介してみよう。

## 第三〇回池田町競馬競技大会

- 1 主催者 池田町競馬愛好会
  - 2 開催日時 六月十五日（日）
  - 3 開催場所 池田町清見ヶ丘特設馬場
  - 4 出走頭数 町内馬一七頭  
町外三五頭
  - 5 レース数 二二レース
  - 6 入場者数 三〇〇〇名
  - 7 本会会長賞授賞馬 ヒメタカラ号  
重半 雌 四才 鹿毛
  - 8 馬主 池田町 阿部孝雄
  - 9 将来の計画等 来年度も実施する
- 第一回西胆振競馬競技大会
- 1 西胆振競馬同志会
  - 2 七月六日（日）
  - 3 虻田町家畜センター
  - 4 一二九頭
  - 5 二二レース
  - 6 二五〇〇名



スタート風景（西胆振）



観戦中の競技役員（池田町）

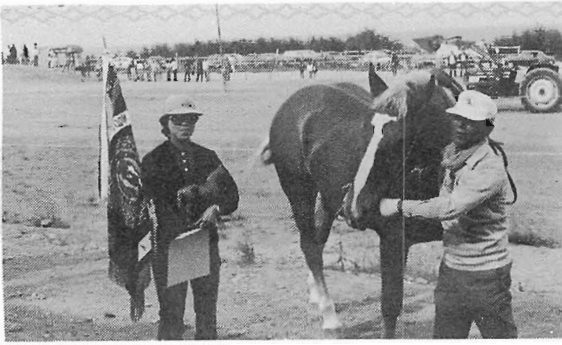


珍競走人間ばんば（室蘭市）

- 7 七重浜号 重米 雄 三才
- 8 上磯町 伊藤恭一
- 9 室蘭市、伊達市、壮瞥町、虻田町、豊浦町、洞爺村の西胆振六市町村の競馬愛好家が会を作り今年度第一回大会を開催した。会員数五〇名。来会以降も続けて実施する。
- 1 第一四回室蘭競馬競技大会
- 2 室蘭競馬競技同志会
- 3 七月二七日（日）
- 4 室蘭市入江町フェリー埠頭向広場
- 5 六五頭
- 6 二〇レース
- 7 二〇〇〇名
- 8 トーショウシルバー号 ベルジャン 雄 三才
- 9 室蘭市 菊地雄司
- 10 室蘭港まつり協賛で毎年開催の予定

第六回豊浦町ばんば競技大会

- 1 豊浦町馬産改良同志会
  - 2 八月三日(日)
  - 3 豊浦町字浜町 町有地広場
  - 4 九七頭
  - 5 二〇レース
  - 6 一〇、〇〇〇名
  - 7 栄桜号 半血種 雌 二才
  - 8 長万部町 北山金蔵
  - 9 来年度は八月月上旬に開催の予定
- 第二〇回雄武町ばんばい競技大会
- 1 雄武町馬産振興会
  - 2 八月一五日(金)

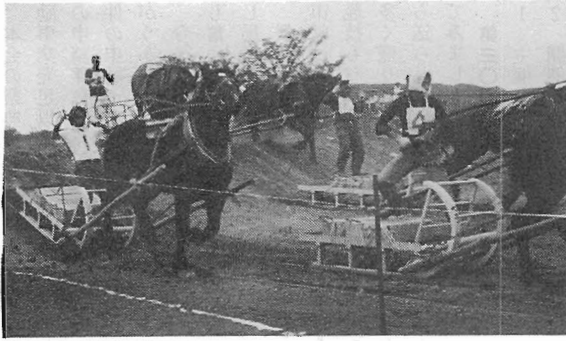


(雄武町)

- 3 雄武町靱曳競技大会場
- 4 七〇頭
- 5 一八レース

一八〇〇名

- 6 タカヒメ号 重半 雌 二才
  - 7 雄武町 豊田政義
  - 8 来年度も八月一五日開催の予定
  - 9 阿寒町ばんば大会
  - 1 阿寒町靱馬愛好同志会
  - 2 八月一五日(金)
  - 3 阿寒町長村種畜牧場靱馬場
  - 4 五二頭
  - 5 一四レース
  - 6 七五〇名
  - 7 宝清号 半血種 雌 一才
  - 8 阿寒町 勘川武宏
  - 9 来年度六月一五日開催予定
- 第二四回白糖町靱馬競技大会  
(町制施行三〇周年記念協賛)



全力出して障害越え(白糖町)

白糖町

- 1 八月一六日(土)
- 2 白糖町坂の丘(町有地特設馬場)
- 3 町内馬九頭
- 4 町外馬一八頭
- 5 一一レース
- 6 五〇〇名
- 7 白菊号 雌 一才 芦毛
- 8 白糖町 高原嘉市
- 9 町外飼養者との交流を図り、町内の馬産を振興させると共に、本大会を全町の行事として広く町民の間に定着させたい。

第二〇回鹿追町靱馬競技大会

- 1 瓜幕競馬会
- 2 八月一七日(日)
- 3 鹿追町瓜幕競馬場
- 4 三三頭
- 5 二五レース
- 6 三〇〇名
- 7 白王号 雌 一四才
- 8 鹿追町 広瀬春生
- 9 町内馬の生産に努め益々発展させた

第八回靱馬競技大会(釧路市)

- 1 釧路市馬産振興会
- 2 八月一七日(日)
- 3 釧路市北斗(大久保牧場)
- 4 四三頭
- 5 一二レース
- 6 五〇〇名
- 7 ノブタカラ 半血種 雌 四才
- 8 釧路市 大久保芳信

来年度八月に開催予定

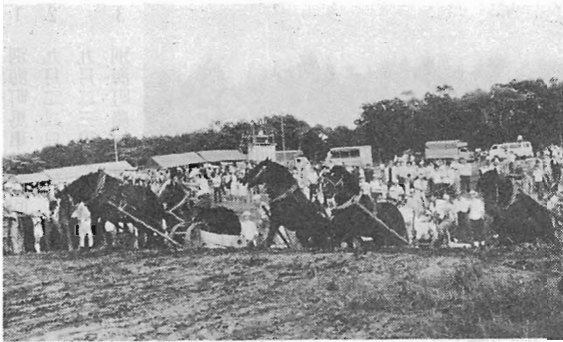
- 9 標津・中標津連合馬事競技大会
  - 1 標津・中標津地区馬事愛好会
  - 2 八月三〇日(土) 靱曳競馬
  - 3 八月三一日(日) 騎乗競馬
  - 4 中標津町南中 特設会場
  - 5 九四頭
  - 6 四五レース
  - 7 ネムロリキ 半血種 雌 十才
  - 8 根室市 下内勝
  - 9 来年度八月月中旬に開催予定
- 第一回浦幌ばんば大会



念入に装具の装着(浦幌町)

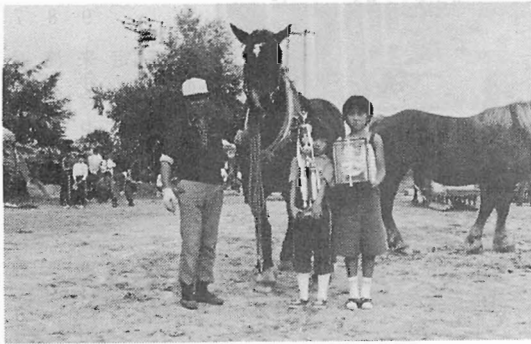
- 6 六〇〇名
- 7 キンダイ 雄 六才
- 8 上土幌町 渡辺昇
- 9 来年以降引続き開催の予定
- 第三回下川町幌曳競技大会
- 下川町開基八〇年
- 町制施行三〇周年記念協賛
- 1 下川町農業実行委員会
- 2 下川町馬産改良協議会
- 3 八月三十一日(日)
- 4 下川町中央橋上流特設会場
- 5 七一頭
- 6 予選一五レース
- 7 決勝一六レース
- 8 九〇〇名
- 9 五月 半血種 雌 五才
- 1 下川町 伊藤正美
- 2 毎年実施する予定
- 3 滝上町祭典ばんば大会
- 4 滝上町滝見相馬妙見神社愛馬講
- 5 九月一日(月)
- 6 滝上町幸町ばん馬競技場
- 7 五九頭
- 8 二五レース
- 9 一〇〇〇名
- 10 ヒライントツブ号 重系 雌 七才
- 11 平岩磯美
- 12 地元農耕馬の出場を促し、馬産振興に寄与するよう努める
- 13 東士幌幌曳競馬大会
- 14 音更町東士幌神社秋季祭典余興競馬会
- 15 九月二日(火)

- 3 音更町東士幌神社境内特設会場
- 4 二九頭
- 5 一四レース
- 6 六〇〇名
- 7 勝栄姫号 雌 三才
- 8 浦幌町 安藤太吉
- 9 続行予定
- 1 第七回弟子屈町幌馬競技大会
- 2 弟子屈町馬産振興同志会
- 3 九月七日(日)
- 4 弟子屈町 長谷川義晃
- 5 弟一松緑号 中半 雌 三才
- 6 一九〇〇名
- 7 一九レース
- 8 弟一松緑号 中半 雌 三才
- 9 弟一松緑号 中半 雌 三才



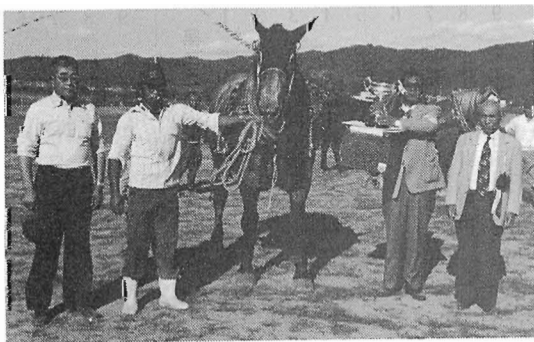
障害で奮とうする馬(弟子屈)

- 9 地元の馬及び管外の馬の出場によりこの大会が毎年盛大になりつつあります。今後は観光行事に合わせで主催出来るようにしたい
- 1 第一三回足寄町家畜祭幌曳大会
- 2 足寄町幌馬協会
- 3 九月十五日(月)
- 4 尾寄町お祭り広場
- 5 五〇頭
- 6 二六レース
- 7 二〇〇〇名
- 8 カチヨシ号 重半 雌 一一才
- 9 足寄町 角田善男
- 1 第六回根室市馬事競技大会
- 2 根室市馬事振興会
- 3 九月十五日(月)
- 4 根室市馬事公園



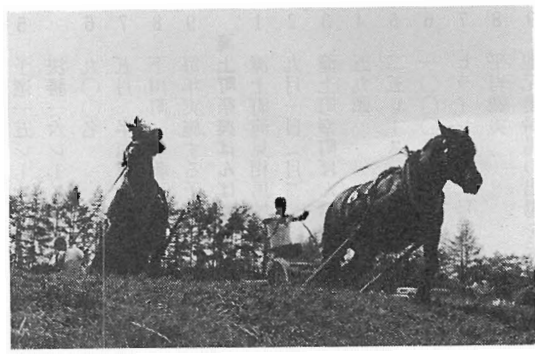
市営競馬協議会賞を家族で受賞(足寄)

- 4 九八頭
- 5 二四レース
- 6 一五〇〇名
- 7 マツミドリ号 ペルシユロン 雌 八才
- 8 標茶町 山崎彦政
- 9 来年度も九月一五日開催予定
- 1 第三回 本別町幌馬競技大会
- 2 本別町馬事振興会
- 3 九月一九日(金)
- 4 本別町南四丁目 特設馬場
- 5 六三頭
- 6 二九レース
- 7 三五〇名
- 8 宝栄号 半血種 雌 三才
- 9 本別町 荒木 寛
- 10 来年度も九月一九日開催予定



市営競馬競技会賞受賞馬

- 1 第六回上士幌町ばんえい競技大会
- 2 上士幌町鞍曳同好会
- 3 九月二〇日(土)
- 4 上士幌町民グラウンド
- 5 四六頭



(上士幌町)

- 5 二四レース
- 6 五〇〇名
- 7 ヒメアラン号 中半 雌 六才
- 8 上士幌町 渋谷克雄
- 9 来年度も九月二〇日開催予定
- 1 第二七回苫小牧鞍馬競走大会
- 2 苫小牧地方鞍馬競走会
- 3 九月二一日(日)
- 4 苫小牧市TBS樽前ハイランド
- 5 五六頭
- 6 二二レース
- 7 五〇〇名



市営競馬顔取、ソリのトロ輸送(別海町)

- 7 栄光号 雄 八才
- 8 苫小牧市 木立 辰雄
- 9 来年度二八回大会を同時期に行う予定
- 1 第七回馬事競技大会
- 2 (第一一回別海町産業祭協賛)
- 3 別海町馬事愛好同志会
- 4 九月二二日(月) 予選
- 5 九月二三日(火) 決勝
- 6 別海町農村広場 馬事競技場

- 4 九月二二日 一三二頭
- 5 九月二三日 一四〇頭
- 6 三七レース
- 7 二一〇〇〇名
- 8 ヒカルフジ 半血種 雌 九才
- 9 滝上町 細井 義雄
- 1 来年度も九月二二、二三日に開催予定
- 2 標茶町鞍馬競技大会
- 3 標茶町馬事振興同志会
- 4 九月二八日(日)
- 5 標茶集散地家畜市場
- 6 八四頭
- 7 二五レース

**浜中町畜霊祭**

**馬車プログラム**

とき 昭和55年10月12日

ところ 浜中町新田競馬場

主催 浜中町畜霊祭実行委員会

- 6 一〇〇〇名
- 7 マツミドリ号 半血 雌 八才
- 8 阿寒町 山崎正彦
- 9 町産業祭の行事の一環として開催したい
- 1 第二二回浜中町畜霊祭
- 2 浜中町畜霊祭実行委員会
- 3 十月二二日(日)
- 4 浜中町浜中競馬場
- 5 九九頭中鞍馬五二頭
- 6 三三レース中一八レース
- 7 二〇〇〇名
- 8 沢姫号 半血 雌 五才
- 9 浜中町 亀井 新市
- 10 来年度十月四日開催予定

昭和55年度

北海道市営競馬協議会馬産奨励事業奨励者名簿

交付者氏名	生産者奨励		
	住所	出走馬名	血統馬名
川田徳延	足寄郡足寄町	カミタカラ	第二相栄
永井満	〃 〃 中足寄	カチミツル	宝 栄
〃	〃 〃 〃	コマサクラ	勇 駿
大浦庸亮	〃 〃 西喜登牛	ゼントルマン	宝 駒
高坂克己	〃 〃 長野	スカイエース	スカイエース
青木安之	〃 〃 ラワン高台	オデシルバー	オデシルバー
佐々木七郎	〃 〃 中足寄	コザクラオ	大 雄
新津宋一	〃 〃 長野	マツフジイサミ	アカツキ
相馬醇一	〃 〃 奥足寄	アショロダイシ	アショロダイシ
石井忠利	〃 〃 ラワン高台	カネミノル	オデオン闘
才野豊吉	河東郡音更町武儀	ヨ シ オ	豊 勝
杉山久繁	〃 〃 錦	アズマイサム	東 勇
香田芳夫	〃 〃 東旭	キクレイ	勇 進
笠松 齐	〃 〃 旭	ダイヤモンドガール	笠 松
高山久夫	〃 〃 下士幌長流枝	キョウリュウ	紅 雲
石川大吾	中川郡幕別町	トカチホシ	ベルジャン一世
棚橋吉一	〃 〃 相川	オーアラシ	ベ ル 駒
二瓶義春	〃 〃 千住	ハナツル	宝 姫
東原武夫	〃 〃 明野	ワカタカラ	宝 栄
佐渡忠孝	〃 〃 遠別	ワカタイショウ	第二ベルジャン
〃	〃 〃 〃	ソラチホマレ	第一ベルジャン
矢竹喜一郎	〃 〃 相川	トミミノル	ベ ル 姫
二瓶長松	〃 〃 豊岡	コウショウ	豊 杉
小笠原孝一	〃 〃 大豊	レットパンサー	栄 梅



交付者氏名	生産者奨励		
	住 所	出走馬名	血統馬名
高橋健雄	中川郡幕別町	カゲツフジ	鉄 桜 二
笹島一郎	〃 〃 遠別	ラッキータカラ	春 駒
東原武夫	〃 〃 明野	アポロフジ	栄 宝
川田武市	〃 〃 相川	タカラリッシン	春 駒
中村弥市	〃 〃 〃	タツユキ	久 神
佐藤信一	〃 〃 〃	ダイジャ	藤 姫
上田健一	中川郡池田町字青山	モンスター	青 葉
北村治嘉	〃 〃 清見	トヨタカオー	繁 宝
成田房吉	〃 〃 昭栄	ホウショウ	第一タカラ駒
朝川新平	〃 〃 豊田	カチクリオー	駒 桜
岩佐丁三	〃 〃 千代田	ブラックファーザ	天 竜
横山松太郎	〃 〃 青山	メテオール	国 光
村瀬栄一	〃 〃 東台	コマサクラ	第 二 暁
北村正義	〃 〃 西2条7丁目	ホッカイイチ	第三キプロク
舘盛清	〃 〃 字昭栄	カボシャル	二世キプロク
杉山重雄	〃 〃 千代田	カチリュウ	晏 流
松下松男	〃 〃 青山	サンエイカリ	キーケル一世
川向義信	中川郡豊頃町牛首別	バンリュウ	宝 博
船越栄太郎	〃 〃 保栄	トチヒカリ	初 駒
川口秀雄	〃 〃 育素多	タカラハナ	宝 花
門寿雄	〃 〃 仁徳	カネワカ	豊 都
〃	〃 〃 〃	カミユタカ	十 勝 宝
〃	〃 〃 〃	トカチミノル	豊 姫
武内斉二	〃 〃 下農野牛	ガーランド	エリザベス
〃	〃 〃 〃	ダデザクラ	カ ー タ ー
鎌田昭三	〃 〃 大川	バッファロ	北 の 湖
中川訓一	〃 〃 礼文内	タカラナミ	宝 波

交付者氏名	生産者奨励		
	住 所	出走馬名	血統馬名
吉村孝次郎	中川郡豊頃町北星	カゲツテンリュウ	清 竜
山下正一	〃 〃 〃	ミノルサカエ	栄 玉
前田高四郎	〃 〃 大川	マツシッブウ	宝 月
加藤 功	〃 〃 〃	タカラダッシュ	宝 山
山口 悟	中川郡本別町	イサミワカ	第四若勇
桑田幸利	〃 〃	カゲタカラ	勇 駒
岡林 薫	〃 〃	キプユウー	キ プ 雄
秋葉 守	〃 〃 西3区	ヤマトタロウ	宝 豊
上田隆一	〃 〃 〃	クボタヤマ	ダンデー王
高島義諦	河西郡更別村字更別北進	プレスタケシバ	二世タカラコマ
林 市次郎	〃 芽室町光勇	マ コ ト	デュマレイ
木幡一雄	河東郡土幌町上音更	アサヒダケ	豊 雄
管 光 男	〃 〃 中土幌	ナカシホロヒメ	第三宝 姫
後藤一馬	河東郡上土幌町上土幌	アサタロー	清 宝
山岸 昇	〃 鹿追町鹿追泉町	ユウザン	鹿 山
〃	〃 〃 〃	キタノエイコウ	栄 山
高田 公	十勝郡浦幌町字宝生	ミサワオー	トカチオー
小枝武夫	〃 〃 幾十世	セビリアン	宝 姫
岩井 章	〃 〃 養老	アオバミル	厳 宝
佐藤重夫	〃 〃 貴老路	ヤマトジンデン	楓 朝 姫
〃	〃 〃 〃	テツリヒメ	鉄 宝
佐藤昌男	〃 〃 川流布	アサヒワカマツ	昌 雄
広瀬俊男	〃 〃 栄穂	キンカイ	第二ナデーヤ
石黒正明	〃 〃 川流布	ザオーフジ	岩 雄
北野 功	〃 〃 上厚内	コマテツリ	鉄 駒
村田 栄一	広尾郡	ハヤサクラ	春 駒
深川 繁信	上川郡新得字屈足柏町	メイフウー	第二家宝

交付者氏名	生産者奨励		
	住所	出走馬名	血統馬名
長野 功	上川郡新得町字屈足柏町	アキタショウエイ	勝 栄
玉井 茂	上川郡清水町上清水更生	トカチハヤブサ	清 玉
佐藤 昌敏	広尾郡大樹町生花	アサヒロ	紅 洋
大久保 芳信	釧路市古川町47	ホッカイホープ	第二北春
〃	〃 〃	ダイリンオー	大 力
〃	〃 〃	ノブタカラ	第二天春
釧路農協連	〃 黒金町12丁目	アズマシゲツ	楽 崇
松下 正義	〃 山花	ポルセイカン	南 星
日本馬事協会	〃 黒金町12丁目	デンポー	都 松
井出 武	白糠郡白糠町庶路	イデサカエ	登 是
〃	〃 〃 〃	イデタカラ	鳳 桜
〃	〃 〃 〃	イデヒメ	ナオスルール
大井 勇	〃 〃 東茶路	ジュエル	アガレ
竹田 基栄	〃 〃 和天別	タマテツオ	隆 勝
佐藤 守	〃 〃 〃	アツサブオーザ	白 星
川原 和雄	〃 〃 庶路	リキオーショウ	宝 姫
早坂 守	〃 〃 茶路	キングダム	チャロー
古内 勇	阿寒郡阿寒町布伏内	ホクテニュー	轟
青田 忠	〃 〃 下徹別	タカラキング	タカラキング
斉藤 六市	〃 〃 仁々志別	ムツリュウ	桜 錦
古川 俊治	川上郡標茶町阿歴内	ユウシュン	大 宝
佐藤 正治	〃 〃 新久著呂	ミチタカラ	富士 勝
伊藤 茂安	厚岸郡浜中町熊牛原野	アサヒカツトシ	春 風
松井 紀行	阿寒郡鶴居町字幌野	カチカプト	誠 宝
崎山 義光	網走郡東藻琴村字西倉	ツガルホマレ	二世ホマレ
今 邦夫	常呂郡佐呂間町字知来	ホマレオーザ	サロマロッシーニ
千葉 秀雄	〃 〃 啓生	ヒサイチ	秀 豊

交付者氏名	生産者奨励		
	住 所	出走馬名	血統馬名
鳴 海 精 一	常呂郡佐呂間町字仁倉	ハ ヤ コ マ	アサヒダイガ
中 川 真 男	網走郡美幌町大通2丁目	キタノマツフジ	勇 駒
杉 目 清 人	〃 〃 豊幌	ク シ ロ ヒ メ	豊 稔
真 鍋 金 太 郎	〃 女満別町住吉	ゴ ウ カ イ	第 三 春 駒
高 木 幸 雄	〃 〃 巴沢	ト ウ ホ ク イ チ	第 二 ア プ レ ス
高 木 正 治	〃 〃 日進	カ ツ タ カ ラ	正 進
岩 淵 幸 夫	常呂郡訓子府町柏丘	ハ ツ イ サ ミ	初 勇
貞 広 光 雄	〃 〃 穂波	ワ カ イ サ ミ	ル バ ン
片 川 勝 博	紋別市渚滑町3丁目	メ イ ホ ウ ザ ン	秀 峰
藤 枝 勝 行	〃 〃 元西	キ ヨ チ カ ラ	第 二 あ や め
霜 島 寅 蔵	〃 字藻別	タ カ ラ ヤ マ ト	楓 若
滝 沢 武 夫	〃 〃	ミ サ ワ リ キ	楓 玉
東 川 貞 一	〃 上渚滑町下立牛	タ ツ ミ オ ー	五 十 二 幸 姫
佐 藤 芳 定	〃 渚滑町元西	サ ク ラ ホ マ レ	ア カ ツ キ
俵 徳 太 郎	紋別市字藻別	ミ サ ワ フ ジ	楓 春
木 村 専 治	〃 南ヶ丘町7丁目	ツ ガ ル バ ン セ キ	第 二 ロ ッ シ ー ニ
〃	〃 〃	ハ ヤ ポ イ ン ト	楓 栄
谷 口 義 雄	〃 大山町2丁目	フ ジ ノ オ ー カ ン	鳳 帝
片 川 勝 博	〃 渚滑町3丁目	ク リ ヒ メ	安 姫
笹 崎 義 雄	〃 上渚滑町和訓辺	ノ ボ ル シ ン ザ ン	楓 姫
鈴 木 由 雄	紋別郡雄武町曙	ホ マ レ タイ シ ョ オ	第 六 ダ ン プ
大 野 正 助	網走市字卵原内	タ カ ノ リ ュ ウ	勝 福
山 崎 繁 代	〃 山里	エ イ カ ン	初 太 郎
藤 原 良	〃 越才	ハ ヤ ヒ メ	菊 花
武 田 金 十 郎	北見市西相内27	カ ミ シ ボ ロ ト ッ プ	キ タ ミ ク イ ー ン
大 西 良 明	〃 富里64	タ カ ラ セ イ コ	蝶 桜
中 川 良 範	常呂郡端野町二区	ホ ワ イ ト ポ ー ラ	光 星

交付者氏名	生産者奨励		
	住 所	出走馬名	血統馬名
渡 辺 一 雄	紋別郡滝上町上渚滑	アサヒサカエ	風 栄
樋 口 輝 雄	〃 湧別町字芭露	ミノルトップ	湧 勝
小 野 勝 一	〃 上勇別町中勇別	タカラジョウ	楓 幸
高 野 信 雄	網走郡津別町字豊永	ダイニニイキ	水 喜
青 田 正 英	〃 遠軽町千代田	ハリケーン	ミスター千代田
筒 井 弘 義	〃 〃 豊里	エンガルキング	第 二 楓 力
岡 崎 日 出 男	〃 〃 清川	タ モ リ	フジハヤテ
松 原 豊	常呂郡常呂町字岐阜	フジテンリュウ	ミスターレディ
西 山 謙	〃 〃 富丘	カミカワシンザン	スピードブラック
矢 野 定 芳	〃 〃 〃	ハ ク ツ ネ	ホースキング
金 田 正 義	斜里郡小清町字小清水	アラワシオ	初 音
小 林 誠 一	紋別郡興部町字朝日	セントウボーイ	楓 林
武 田 明	天塩郡天塩町字振老	キクユウザン	菊 雄
宮 越 豊 八	稚内市樺岡	ソウヤコマ	大 鵬
大 野 武 義	枝幸郡浜頓別町字戸出	アレクサンダー	幸 菊
糸 川 一 郎	野付郡別海町西春別	キンタロー	二 世 宝 王
〃	〃 〃 〃	トカチホマレ	二 世 宝 山
福 島 広 光	標津郡中標津町俵橋	アサヒグリフオン	大 登
樋 木 慶 矩	〃 標津町川北	ネムロキンセイ	雄 宝
長 谷 川 長 一	〃 〃 桜木	シャリキマル	
嶋 田 孝 四 郎	富良野市山部町東20線	シマノエミー	第 二 玉 姫
嶋 田 吉 太 郎	〃 〃 東17線	タカラユーホ	鉄 苑
高 原 春 雄	下川郡下川町新町	モモタロー	松 風
奥 村 勝 馬	〃 〃 上名寄17線	ハ ツ ミ	初 駒
川 崎 金 太 郎	〃 〃 〃 15線	ホウエイ	春 風
千 葉 美 三	上川郡美瑛町俵真布	アサタカラ	第 二 駒
中 川 梅 次 郎	夕張郡長沼町第16区	スイリュウ	梅 優

交付者氏名	生産者奨励		
	住所	出走馬名	血統馬名
瀬戸慶秋	夕張郡長沼町第18区	カヨヒメ	カヨ
片山光夫	〃 〃 市街地	アイデンイサミ	第七世ピートライス
広川鉄次	〃 〃 〃	ナポレオン	勝彦
関村清	新冠郡新冠町字泉	シンザンサカエ	新山
蜜石秀雄	沙流郡日高町字千栄	ニッショウコマ	緋雄
矢野幸次郎	〃 門別町字平賀	ストロングニセイ	第二燕
上村忠夫	〃 字富浜	アサクニ	朝国
木村文太郎	〃 平取町貫気別	ニスイホウ	春香
浅野勝嘉	勇払郡厚真町字守隆	マルトダウンサー	アツマハヤテ
酒井秀克	〃 早来町字緑丘	キタノカゲ	力姫
遠藤久夫	〃 〃 東早来	ロングベビー	ロングベビー
小池弘	静内郡静内町目名	エリモアラシ	山飛
矢野清志	虻田郡豊浦町字桜	ヤシタフジ	ソオルルパン
由布一穂	勇払郡穂別町字穂別	カシュウセイカン	流幸
伊藤正	〃 〃 字豊日	ファンテスコ	初宝
森秀夫	有珠郡社警町滝の町	オールパーパス	盛山
〃	〃 〃 〃	ヒルバスター	宝姫
立谷貢	虻田郡虻田町字泉	ミスハツハナ	ミスハツハナ
金野左助	伊達市南黄金町	ヤマトエイゲツ	栄丸
若狭定雄	桧山郡上ノ国町字中須田	ドウナンシンザン	新梅
布施新五郎	〃 〃 〃	ハルヒカリ	北宝
尾山傳	〃 江差町大字小黒部	ナナエルパン	勝詠
沢口作蔵	〃 〃 大字鹹川	オシマカチドキ	高詠
島口久雄	虻田郡真狩村字桜川	サクラトップ	勝峰
水上信昭	桧山郡厚沢部町相生	ヒヤマリュウ	竜姫
水野武光	茅部郡森町字常盤	ハツウメ	第六初梅
鶴巻幸次	石狩郡当別町字青山	クマハクマ	太清

交付者氏名	生産者奨励		
	住 所	出走馬名	血統馬名
小林 一 明	士別市多寄町36線東11号	リュウセンドー	イサミコバヤシ
大平 達 雄	枝幸郡枝幸町字風烈布	リ ッ カ	立 花
八 卷 亨	天塩郡遠別町字北里	ミスサロベツ	啓 桜
坂 本 辰 雄	茅部郡砂原町度杭崎	サワラローズ	藤 姫

交付者氏名	競走経歴種雄馬管理者奨励		
	住 所	種 雄 馬	出走馬名
音 更 農 協	中川郡豊頃町中央若葉町	タカラコマ (家宝)	バンリュウ 他9頭
森 春 蔵	〃 本別町北4丁目	ソラチオー (栄山)	イサミワカ 他5頭
田 村 勝	河東郡音更町字中土幌稲穂	カチサカエ (晏栄)	ヨ シ オ 他7頭
大久保 芳 信	釧路市古川町47	トキミノル (豊田)	ダイリンオー
〃	〃 〃	オメガキング (芳清)	ノブタカラ 他1頭
寺 岡 勝 雄	稚内市港町5丁目	リ ッ ケ イ (立啓)	ソウヤコマ 他2頭
端 正 行	川上郡弟子屈町鋤別	イシノシンボル (仙山)	ダ イ ジ ャ
児 島 和 夫	紋別郡湧別町西芭路	アズマキング (宝栄)	ミツルトップ
岩 本 政 治	石狩郡当別町対雁	ハクショウグン (太暁)	クマハクマ
矢 野 清 志	虻田郡豊浦町字桜	ヒタチオー (第二ロッシーニ)	ヤシタフジ 他1頭

交付者氏名	競走経歴繁殖雌馬奨励		
	住 所	繁 殖 雌 馬	出走馬名
岩 淵 幸 夫	常呂郡訓子府町字柏丘	ツルヒメ (流星)	ハツイサミ
北 野 功	十勝郡浦幌町字上厚内	ハナヒメマル (花姫)	コマテツリ
鶴 卷 幸 次	石狩郡当別町字青山	タキヒメ (第一清流)	クマハクマ
八 卷 亨	天塩郡遠別町字北里	タカラヒメ (緑桜)	ミスサロベツ
浅 野 勝 嘉	勇払郡厚真町字宇隆	エタロンヒメ (北の富)	マルトダンサー

# 昭和56年度報償費

## 1. 馬主に関するもの

- (1) 賞金 競馬番組で示した金額
- (2) 出走手当 次に該当する馬の馬主に対し支給する
- (ア) 競走に1回以上出走したとき
- (イ) 特別報償金の受給資格のあるとき

出走手当	45,000円
------	---------

- (3) 着外手当 競走に出走した6着以下の馬の馬主に対し、次の区分により支給する。ただし、失格及び競走中止の場合は支給しない。

重賞競走	1着賞金	30万円以上	100,000円
	〃	30万円未満	40,000円
特別競走			25,000円

- (4) 特別報償金 次に該当する馬の馬主に対し支給する。
- (ア) 出走投票の結果1競走の出走頭数が5頭以下のため競走が取り止めになったとき又は、制限頭数を越えたため抽選により出走できなくなったときとし、当該開催競馬において同一馬につき1回とする。
- ただし、当該開催の競走に出走した馬を除く。
- (イ) 競走除外等で同枠のため除外(友引)になったとき。
- (ウ) 天災その他やむを得ない理由により開催当日に、競馬又は競走を取り止めたとき。

(ア)のとき	その競走の5着賞金、ただし30,000円を限度とする(騎手賞、厩務員賞においてもこれに準ずる。)
(イ)のとき	その競走の3着賞金(騎手賞、厩務員賞においてもこれを準ずる。)
(ウ)のとき	その競走の賞金と着外手当の会計額を出走頭数で按分した範囲の額(騎手賞、厩務員賞においてもこれに準ずる。)

- (5) 輸送手当 競走場毎に1回以上出走した馬(特別報償金受給資格を有した馬を含む)の馬主に対し当該競馬場毎に支給する。

輸送手当	12,000円
------	---------

## 2. 騎手に関するもの

### 騎手賞

競走に出走した馬の騎手に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。

(条例第102条)〇〇市地方競馬実施〇〇規則第99条の規定により調教業務の委託を受けた調教騎手に対し、当該競走にかかわる調教騎手賞を支給する。

区 分	1 着	2 着	3 着	4着以下
調教騎手	27,000	23,000	18,000	13,500
騎乗騎手	18,000	14,000	12,000	9,500

## 3. 厩務員に関するもの

### 厩務員賞

出走確定した馬の厩務員に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。

また、管理頭数は4頭を限度とする

区 分	1 着	2 着	3 着	4着以下
厩務員賞	17,000	13,000	11,000	8,500

(受給対象者は、北海道市営競馬協議会会長のきゅう務員認定を受けた者であって、地方競馬共済会に加入している者のうちから専業きゅう務員として認めたる者)



ばんえい重量は500kgとし本年取得賞金50万円につき10kgの加増を行う。

なお、ばんえい重量は9月4日から510kg、10月17日から520kgとし本年取得賞金50万円につき10kgの加増を行う。

#### イ 4・5才馬

3才時よりの通算取得賞金により、次に掲げるばんえい重量とする。

取得賞金	550万円 未満	390万円 未満	290万円 未満	200万円 未満	110万円 未満
ばんえい重量	640 kg	620 kg	600 kg	580 kg	560 kg

#### ウ 4才以上

昭和53年以降の取得賞金により、次に掲げるばんえい重量とする。

ただし、4・5才馬で編入する馬は、同額賞金クラスに編入し競走において10kgを減量する。

取得賞金	1,400万円 以上	1,400万円 未満	1,100万円 未満	880万円 未満	700万円 未満	550万円 未満	390万円 未満	280万円 未満
ばんえい重量	700kg	700kg	680kg	660kg	640kg	620kg	600kg	600kg

#### エ オープン馬

昭和53年以降の取得賞金1400万円以上の馬をオープンとする。1,400万円以上の取得賞金に対し500万円につき10kgの基礎加増を行う。

本年取得賞金に対し300万円を越える額ごとに10kgを加増する。

(3) 雌馬は競走において10kg減量する。

(4) 普通及び別定競走において委員長が指定する騎乗騎手は、通算勝利率回数により10kg減量する。

#### 7. 希望編入

取得賞金によらず希望で編入できるのは、オープンのみとし番組編成会議で決定する。

ただし、希望編入できるのは7月までとする。

8. 普通競走において全馬のばんえい重量が高重量となるときは、全馬の重量を一率に減ずることができる。

9. 取得賞金は、特に記載のない限り前回までの合計とする。

#### 10. 騎乗の制限

(1) 1日の騎乗回数は6回、連続騎乗は3回を限度とする。

ただし、委員長が特に認めた場合は、この限りではない。

(2) 騎乗変更した騎乗騎手の翌日の騎乗は、これを認めない。

ただし、委員長が特に認めた場合は、この限りではない。

#### 11. 騎乗騎手の減量について

委員長が指定する騎乗騎手は、次のとおりとする。

(1) 数え年30才以下の騎乗騎手で、通算勝利率数25勝以下の者

(2) 減量騎乗騎手は、出馬表に☆印で表示する。

12. この要領に定めるものの他、番組編成上必要な事項については、番組編成会議で別に定める。

# 番組編成要領

## 1. 出走馬の種類

軽種及び軽半血種以外の種類

## 2. 出走馬の資格

次の各号全部の条件をそなえていること

(1) 地方競馬全国協会の登録を受けた馬

(2) 新馬 3才

古馬 10才以下（再登録馬は、6才以下の馬）

(3) 馬体重 3才 700kg 以上の馬  
4才以上 750kg

(4) 馬体検査、能力調教検査に合格した馬（他競馬場において合格した馬を含む）

## 3. 出走の制限及び拒否

(1) 外国産馬は、出走できない。

(2) こ疾の程度が重く又は、外観上みにくい馬。

(3) 出走取消をした馬及び競走除外馬（同枠除外を除く）は、その開催の残余期間。

(4) 尋常てい鉄を使用しない馬。

(5) 調教が十分でない癖馬及び失明馬（片眼馬を含む）。

## 4. 出走頭数の制限及び競走の取り止め

(1) 1競走における出走頭数は、10頭以下とする。

(2) 普通競走において、前項に定める頭数を越えて出走投票があった場合は、抽選により出走馬を決定する。

(3) 前項により出走できなかった馬は、競馬番組で示す当該馬が出走できる最初の競走に限り出走投票した馬に優先出走を認める。

(4) 出走投票の結果、1競走の頭数が5頭以下の場合は、その競走を取り止め新たに競走を設けることができる。

ただし、偶発的事故又は疾病等により出走を取り消し又は、競走除外を命じた場合を除く。

## 5. 競走の区別

取得賞金額（1着～5着まで以下同じ）により編成し年令別に次のとおりとする。

3才 3才馬のみの編成とする。

4・5才 4・5才馬の混合編成とし、通算取得賞金550万円以上の馬は、4才以上の競走に編入する。

4才以上 4才以上の混合編成とする。

## 6. 負担重量

(1) 騎手重量 騎手重量は75kgとする。

(2) ばんえい重量

ア 3才馬

## 昭和55年度市営競馬成績

主催者	期別	売得金額	1日平均	賞金額	入場人員	1日平均
旭川市	1	1,489,033,200	248,172,200	71,725,000	31,758	5,293
	2	1,749,992,400	291,665,400	72,428,000	35,211	5,869
	3	1,613,920,100	268,986,683	81,776,000	30,756	5,126
	4	2,300,065,200	383,344,200	98,401,000	45,231	7,539
	計	7,153,010,900	298,042,121	324,330,000	142,956	5,957
帯広市	1	1,340,641,600	223,440,267	53,770,000	30,601	5,100
	2	1,381,276,300	230,212,717	53,906,000	28,570	4,762
	3	1,597,224,700	266,204,117	61,731,000	30,888	5,148
	4	1,978,358,900	329,726,483	72,770,000	36,666	6,111
	計	6,297,501,500	262,395,896	242,231,000	126,725	5,280
北見市	1	1,228,895,700	204,815,950	41,971,000	27,013	4,502
	2	1,323,716,100	220,619,350	42,579,000	27,236	4,539
	3	1,242,755,900	207,125,983	44,346,000	24,875	4,146
	4	1,573,493,400	262,248,900	49,210,000	30,871	5,145
	計	5,368,861,100	223,702,546	178,106,000	109,995	4,583
岩見沢市	1	1,201,642,400	200,273,133	48,944,000	27,994	4,666
	2	1,572,903,000	262,150,500	56,829,000	38,380	6,397
	3	1,437,829,600	239,638,267	64,315,000	27,883	4,647
	4	1,708,638,000	284,773,000	66,747,000	28,850	4,808
	計	8,078,105,200	269,270,173	323,570,000	155,804	5,193
合 計	26,897,478,700	263,700,772	1,068,237,000	535,480	5,250	

## 昭和55年度道営競馬成績

主催者	期別	売得金額	1日平均	賞金額	入場人員	1日平均
帯広市	1	1,004,852,200	167,475,366	90,060,000	26,135	4,356
	2	809,190,400	134,865,066	87,875,000	18,527	3,088
	3	933,429,800	155,571,633	94,430,000	18,794	3,132
	4	1,041,905,000	173,650,833	90,421,000	20,772	3,462
	計	3,789,377,400	157,890,725	362,786,000	84,228	3,519
旭川市	1	822,839,100	137,139,850	91,789,000	20,717	3,453
	2	852,633,000	142,105,500	82,764,000	18,275	3,046
	3	1,023,341,100	170,556,850	90,649,000	23,055	3,843
	計	2,698,813,200	149,934,067	265,202,000	62,047	3,447
岩見沢市	1	1,398,308,600	233,051,433	85,576,000	29,560	4,927
	2	1,793,884,800	298,980,800	86,659,000	36,914	6,152
	3	2,116,364,400	352,727,400	94,316,000	40,329	6,722
	計	5,308,557,800	294,919,878	266,551,000	106,803	5,934
札幌市	1	3,040,012,000	506,668,666	92,568,000	72,421	12,070
	2	3,430,482,800	571,747,133	94,221,000	78,802	13,134
	3	3,750,251,800	625,041,966	101,441,000	87,837	14,640
	4	3,732,006,800	622,001,133	110,371,000	78,797	13,133
	計	13,952,753,400	581,364,725	398,601,000	317,857	13,244
函館市	1	1,086,900,200	181,150,033	79,173,000	37,480	6,247
	2	1,026,078,800	171,013,133	90,003,000	30,688	5,115
	3	1,401,423,400	233,570,566	87,970,000	41,054	6,842
	計	3,514,402,400	195,244,577	257,146,000	109,222	6,063
合 計	29,263,904,200	286,901,021	1,550,286,000	680,157	6,668	

# 昭和55年度種雄馬ランキング

6才以上

順位	種類	馬名	頭	勝	取得賞金	おもな出走馬
1	ブル	鉄 鯉	26	45	78,352,000	ダイケツ、キンバイ
2	ル	楓	13	36	54,382,000	キヨウエイ、アサミドリ
3	ベ	二世	6	19	26,459,000	ハヤホマレ、フジ
4	ベ	二世	11	24	25,941,000	キタノタイリュウ、サロマシンザン
5	重	第二	5	6	21,000,000	カイリキ、ショウウフジ
6	重	第二	10	16	17,609,000	ドラゴンダッシュ、ダイセイコー
7	ベ	ア	6	12	16,169,000	ブラックパワー、ドウホクチドリ
8	ベ	ボ	4	7	14,572,000	キンボシ、エルザ
9	ベ	久	6	12	14,279,000	スイショウ、リウリキ
10	ル	キ	7	13	13,933,000	マサヒカリ、シンザンアサヒ
11	ル	ダ	3	8	11,049,000	ヤマサラッキー、センポイント
12	ベ	ウ	5	6	9,378,000	イダテン、トシクイーン
13	ル	得	2	4	8,691,000	ヒメサカエ、ヒロホマレ
14	ル	ボ	5	10	8,665,000	トキノロブスト、モリチカラ
15	ベ	オ	2	5	7,569,000	ノヘジトッパ、マイチモンジ
16	中	富	1	2	6,613,000	アイスリヤル
17	半	ナ	3	4	5,748,000	タケイサミ
18	中	大	2	5	5,728,000	ミスアサイサワ
19	ベ	第一	2	3	5,692,000	バイセン
20	重	映	1	2	5,662,000	ソウシン

4・5才

順位	種類	馬名	頭	勝	取得賞金	おもな出走馬
1	ベ	楓	17	35	35,306,000	キタノフジ、ホマレタイショオ
2	ル	二世	22	37	34,829,000	キンタロー、ハヤタカラ
3	ベ	マル	8	21	30,535,000	マルトダンサー、スターカップ
4	重	タ	13	23	22,184,000	シマノエミー、シュンホース
5	ベ	ジ	14	20	13,709,000	マサカツ、リュウタカラ
6	ル	第三	6	5	12,298,000	リュウタロー、ソラチキリン
7	ベ	ボ	6	15	10,193,000	キタノウルブ、ヤマニオウカ
8	ベ	ヒ	3	8	6,997,000	ヤシタフジ、カツトシ
9	ベ	ゲ	3	6	6,861,000	ユタカモリ、キミヒメ
10	ル	蝶	2	3	6,466,000	セキホク、カミシホロトッパ
11	ベ	ダ	3	7	6,092,000	カチオープン、マサタカラ
12	ベ	輝	2	4	5,928,000	カヤベヒメ、メイホウザン
13	中	ナ	5	5	5,210,000	ヒメホマレ
14	ク	コレ	1	4	5,135,000	ウチウラ
15	ル	キ	5	10	4,756,000	ダイゼンシン、アポロオーザ
16	ベ	産	6	8	4,446,000	シンザンサカエ
17	ル	ボ	3	7	4,371,000	タカラユーホ、アサヒダケ
18	中	栄	4	4	3,605,000	ハツハナ
19	中	南	2	4	3,570,000	ブラックリバー
20	重	イ	2	7	3,415,000	ダイサンエンゼル、デワフブキ

3才

順位	種類	馬名	頭	勝	取得賞金	おもな出走馬
1	重	タ	37	68	55,427,000	オパール、タカラヨシウメ
2	ル	二世	17	34	32,977,000	ヤマト、アリー
3	ベ	ボ	8	15	18,410,000	ハイスピード、サムソン
4	ベ	銅	7	16	15,304,000	ロイヤルキング、テツイワイ
5	ベ	ジ	7	19	12,927,000	リュウハヤチ、スズホマレ
6	ル	楓	10	14	12,392,000	クインローズ、ミネオーザ
7	ベ	第二	7	9	7,421,000	ササノチカラ、ゼットボーイ
8	ベ	マル	5	11	7,143,000	マルトカチヨシ、アオヤマトッパ
9	重	才	4	6	5,659,000	イマガネチェリー、タケトッパ
10	ベ	産	7	6	5,233,000	ニッシュウツバメ、アイザンオー
11	ベ	キ	3	7	4,943,000	ニイカップオー、カワチドリ
12	重	カ	1	2	3,945,000	カネヒロパワー
13	ベ	久	4	5	3,776,000	タツマキニセイ、ダイゴロウ
14	ル	ヒ	5	6	3,738,000	ダイイチテンリュウ、ホマレニシキ
15	半	ビ	4	7	3,427,000	フクエーマル、エトワール
16	ベ	ボ	4	4	3,370,000	キタノナンシ、リキヒメ
17	ル	優	4	6	2,975,000	タケシ、アキホマレ
18	半	ハ	3	3	2,908,000	クシロオーザ、キヨザクラ
19	重	グ	3	6	2,876,000	アンテンオー、マツオブルー
20	半	ト	2	7	2,615,000	マルトカチ

## 昭和55年度賞金受賞ランキング

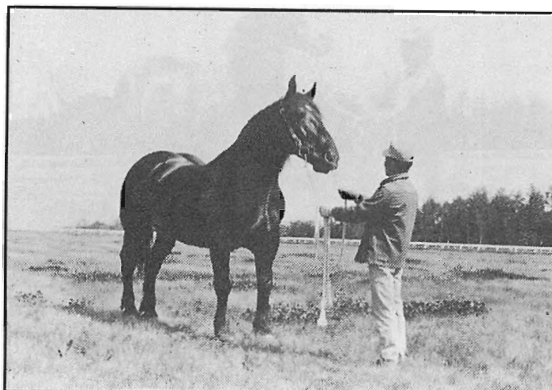
順位	3		才	
	馬名	出走回数	取得賞金	
1	ハイスピード	11	9,760,000円	
2	ロイヤルキング	14	8,756,000	
3	ヤマト	13	6,905,000	
4	オパール	18	5,545,000	
5	タカラヨシウメ	12	5,247,000	
6	イマガネチエリー	14	3,970,000	
7	カネヒロパワ	22	3,945,000	
8	ヤマトウンリュウ	12	3,688,000	
9	ホッカイタカラコマ	13	3,538,000	
10	アリー	18	3,477,000	
11	リュウハヤテ	20	3,410,000	
12	マルトカチヨシ	20	3,402,000	
13	ヤマトオーザ	14	3,360,000	
14	ササノチカラ	20	3,308,000	
15	キタミトップ	15	3,267,000	
16	ウシオドトー	13	3,131,000	
17	ダイショウリ	17	3,100,000	
18	クインローズ	21	2,977,000	
19	スズホマレ	18	2,897,000	
20	ニイカップオー	10	2,776,000	

順位	4		才	
	馬名	出走回数	取得賞金	
1	マルトダンサー	13	14,642,000円	
2	ホマレタイショオ	17	6,557,000	
3	キンタロー	11	5,395,000	
4	ヤシタフジ	23	4,539,000	
5	ホマレオーザ	14	3,827,000	
6	シマノエミー	10	3,600,000	
7	イデサカエ	20	2,869,000	
8	モンスター	20	2,548,000	
9	シュンホース	11	2,530,000	
10	エイカン	17	2,387,000	
11	ツガルホマレ	7	2,320,000	
12	メイホウザン	22	2,295,000	
13	バンリュウ	12	2,233,000	
14	ドウナンシンザン	17	2,021,000	
15	タカノリュウ	12	1,965,000	
16	ミサワオー	18	1,964,000	
17	トチヒカリ	15	1,880,000	
18	トカチホシ	11	1,867,000	
19	アサヒワカマツ	14	1,840,000	
20	タカラユーホ	18	1,827,000	

順位	5		才	
	馬名	出走回数	取得賞金	
1	キタノフジ	16	10,632,000円	
2	スターカップ	13	6,087,000	
3	ウチウラ	17	5,135,000	
4	セキホク	14	4,827,000	
5	リュウウタロー	17	4,509,000	
6	カチオープン	15	4,210,000	
7	ユタカモリ	17	4,030,000	
8	ハヤタカラ	14	3,950,000	
9	タミオヒメ	18	3,832,000	
10	カヤベヒメ	14	3,633,000	
11	マルゼンレコード	17	3,618,000	
12	キンカホウ	16	3,522,000	
13	ミサワコマ	13	3,215,000	
14	ブラックリバー	20	2,895,000	
15	ソラチキリン	21	2,680,000	
16	ヒカルオートリ	17	2,534,000	
17	カツトシ	18	2,458,000	
18	ダイサンキクヒメ	17	2,358,000	
19	ヤマニオウカ	20	2,220,000	
20	キタノウルフ	19	2,153,000	

順位	6		才以上	
	馬名	出走回数	取得賞金	
1	ダイケツ	28	17,610,000円	
2	カイリキ	24	14,188,000	
3	キョウエイ	13	13,050,000	
4	アサミドリ	20	12,050,000	
5	ハヤホマレ	25	11,710,000	
6	キヨヒメ	22	10,655,000	
7	キンボシ	20	8,205,000	
8	キンバイ	22	7,073,000	
9	アイスリヤル	23	6,613,000	
10	ノヘジトップ	16	6,548,000	
11	ヤマサラッキー	22	6,089,000	
12	トカチノボル	20	5,980,000	
13	ヒメサカエ	21	5,781,000	
14	ソウシン	21	5,662,000	
15	ドラゴンダッシュ	19	5,415,000	
16	テツワカ	24	5,337,000	
17	スイショウ	24	5,307,000	
18	フジ	15	5,180,000	
19	ミスアカイサワ	21	5,083,000	
20	バイセン	24	4,990,000	

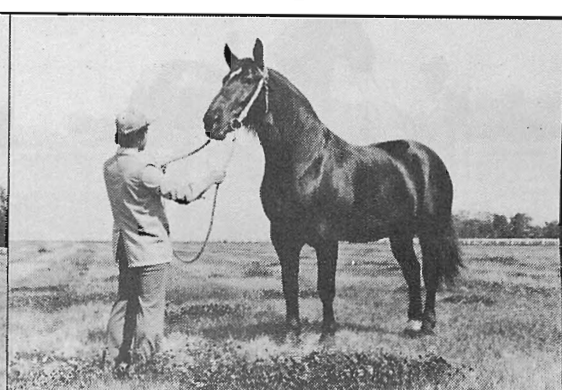
# 昭和55年度引退馬(表彰馬)



## エイシヨウ号

1. 生年月日 S.46.4.25
2. 生産地 浦幌町
3. 生産者 田中常平
4. 通算成績 104戦21勝
5. 取得賞金額 9,677,000円
6. 血統

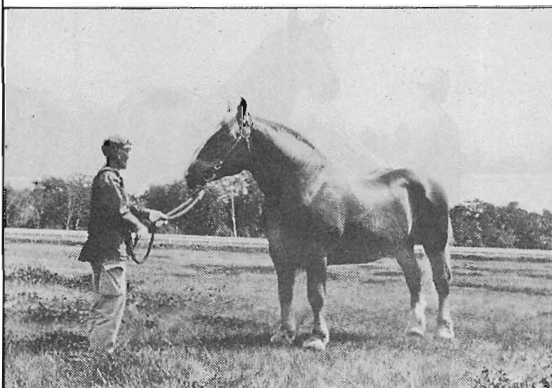
ベル 宝勝 — [ベル ガシュール  
第五タマヒメ  
重半 栄花 — [重半 玉幸  
重半 第三初姫



## イダテン号

1. 生年月日 S.46.4.10
2. 生産地 幕別町
3. 生産者 小笠原 茂
4. 通算成績 111戦20勝
5. 取得賞金額 12,481,000円
6. 血統

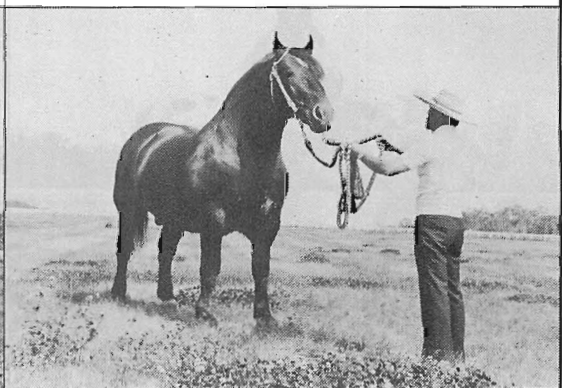
ベル ウルバン — [ベル イポーワール  
ベル ラビット  
重半 宝愛 — [ベル 宝水  
中半 第八北海



## キプオーザン号

1. 生年月日 S.46.4.10
2. 生産地 池田町
3. 生産者 山根勝美
4. 通算成績 125戦16勝
5. 取得賞金額 8,310,000円
6. 血統

ブル キプロク — [ブル エーポー  
ブル コーピ  
重系 光進 — [重半 北進  
重系 第二光



## イチモンジ号

1. 生年月日 S.46.4.30
2. 生産地 標茶町
3. 生産者 斎藤良作
4. 通算成績 141戦23勝
5. 取得賞金額 13,135,000円
6. 血統

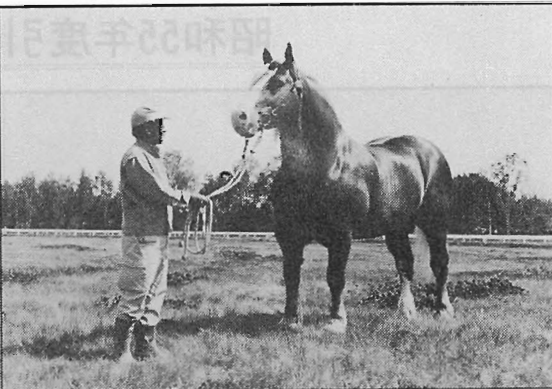
重半 松栄 — [ブル オスカ  
重系 松姫  
重半 黒竜 — [ベル 呂名  
中半 福花



### ソウシン号

1. 生年月日 S.46.4.10
2. 生産地 本別町
3. 生産者 小林 盛
4. 通算成績 130戦19勝
5. 取得賞金額 17,392,000円
6. 血統

ベル 映昭	—	ベル ニジェリア
		ベル 映烈二世
ベル系 初春	—	ベル メキシコ
		重系 第九初桜



### シソツバメ号

1. 生年月日 I.46.6.10
2. 生産地 雄武町
3. 生産者 沢田力春
4. 通算成績 103戦27勝
5. 取得賞金額 5,345,000円
6. 血統

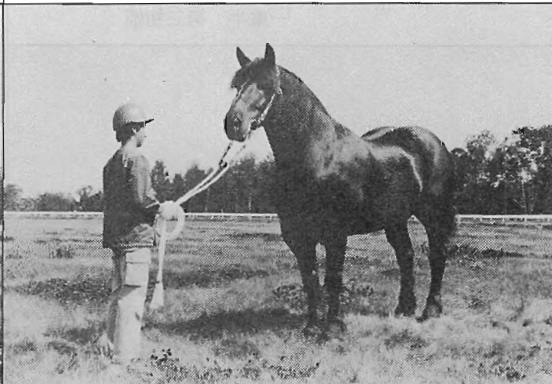
重半 恵清	—	ブル イミタシオン
		ベル系 清姫
中半 第2福原	—	ブル モーリス
		重半 福花



### タケイサミ号

1. 生年月日 S.46.4.7
2. 生産地 足寄町
3. 生産者 金岡重文
4. 通算成績 112戦12勝
5. 取得賞金額 9,358,000円
6. 血統

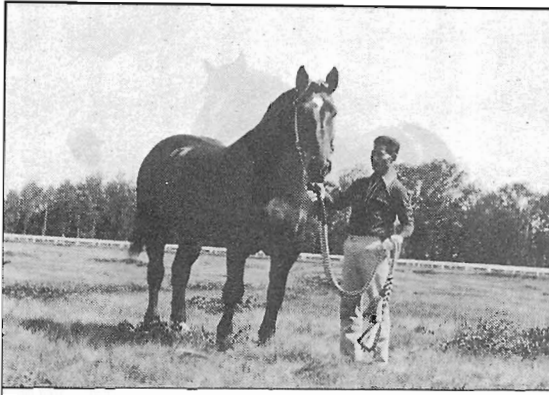
中半 ナオス雄	—	ブル ナオス
		中半 芳梅
重系 勇花	—	ベル 第5勇進
		重半 第2初花



### シンナイ号

1. 生年月日 S.46.4.18
2. 生産地 池田町
3. 生産者 ———
4. 通算成績 104戦23勝
5. 取得賞金額 16,256,000円
6. 血統

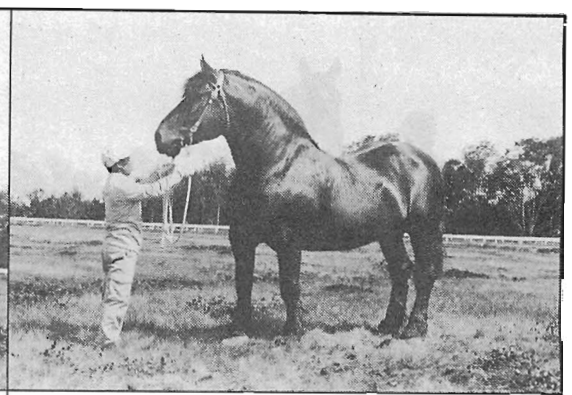
ベル 新明	—	ベル ベルヴァンシエー
		ベル 穂琴
重系 立花	—	ベル エタロン
		重系 武姫



### トールバロン号

1. 生年月日 S.46.5.3
2. 生産地 美幌町
3. 生産者 三好 敏
4. 通算成績 110戦8勝
5. 取得賞金額 8,007,500円
6. 血統

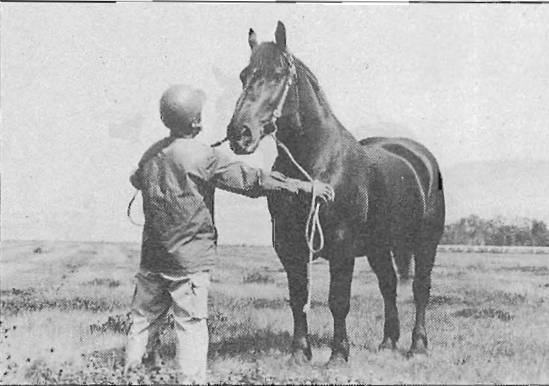
中半イスラエル2世 — ブル イスラエル  
                                   — 中半 ハ重桜  
 中半 光 栄 — 中半 大 栄  
                                   — 重半 光 姫



### ダイサンアンテン号

1. 生年月日 S.46.5.14
2. 生産地 釧路市
3. 生産者 伊藤 精一郎
4. 通算成績 116戦13勝
5. 取得賞金額 4,629,000円
6. 血統

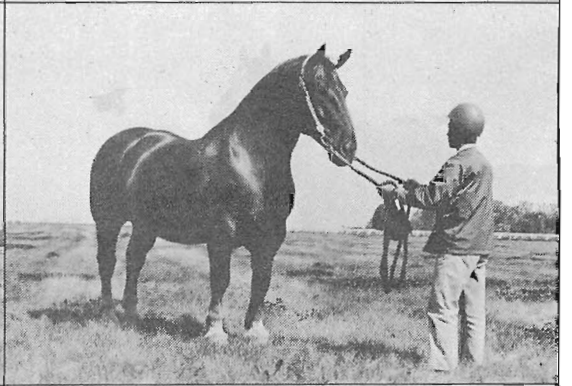
重半 ホウホウ — ブル オリヴィエ  
                                   — ブル ブルジョン  
 ブル系キングオペラ — ブル オペラ  
                                   — 中半 キングレクセン



### ノヘジトップ号

1. 生年月日 S.46.4.26
2. 生産地 網走市
3. 生産者 山本 巧
4. 通算成績 108戦23勝
5. 取得賞金額 12,804,000円
6. 血統

ベル オナシス — ベル クウン  
                                   — ベル アンスタクティフ  
 中半 常 明 — ブル ジャケン  
                                   — 中半 宝 栄

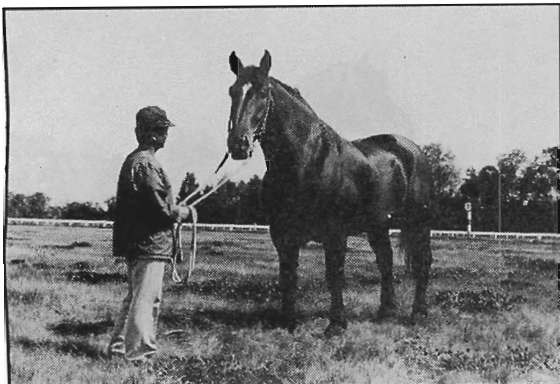


### ダイニチグサ号

1. 生年月日 S.46.4.22
2. 生産地 天塩町
3. 生産者 台川 貞夫
4. 通算成績 116戦22勝
5. 取得賞金額 13,160,000円
6. 血統

重半 東 亜 — ブル 鉄 鯉  
                                   — ベル系 アンチェリー  
 重系 卯 月 — ベル系 第八北光  
                                   — 重系 五 月

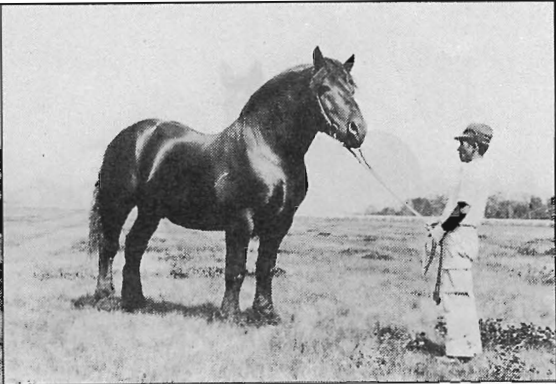




### フジノオー号

1. 生年月日 S.46.5.24
2. 生産地 美幌町
3. 生産者 三好安美
4. 通算成績 97戦19勝
5. 取得賞金額 4,996,000円
6. 血統

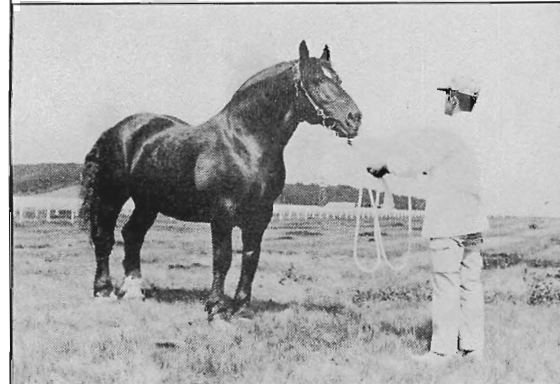
ブルケルネベエズ — ブル ムスマッド  
                               — ブル シュトーズ  
 中半 五月 — 中半 第2世コケン  
                               — 中半 興葉



### ハツヤマ号

1. 生年月日 S.46.5.3
2. 生産地 浦幌町
3. 生産者 川原誠貫
4. 通算成績 115戦15勝
5. 取得賞金額 5,715,000円
6. 血統

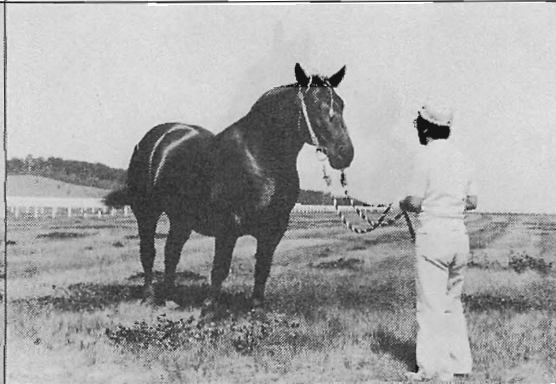
ブル アルフォル — ブル ラボリオ  
                               — ブル ロジィ  
 ペル 影第二初姫 — ペル エタロン  
                               — ペル 初姫



### ブラツクパンサー号

1. 生年月日 S.46.5.10
2. 生産地 網走市
3. 生産者 佐々木清春
4. 通算成績 122戦18勝
5. 取得賞金額 8,963,000円
6. 血統

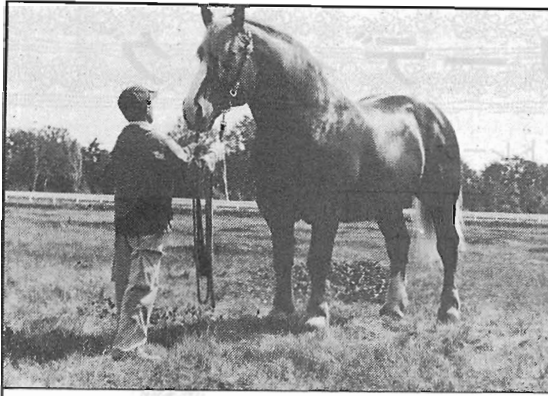
ペル アプレス — ペル ローシェ  
                               — ペル サンシブル  
 重半 都姫 — ペル 修久  
                               — 中半 勝姫



### バイセン号

1. 生年月日 S.46.2.20
2. 生産地 穂別町
3. 生産者 三上秀雄
4. 通算成績 104戦24勝
5. 取得賞金額 18,677,000円
6. 血統

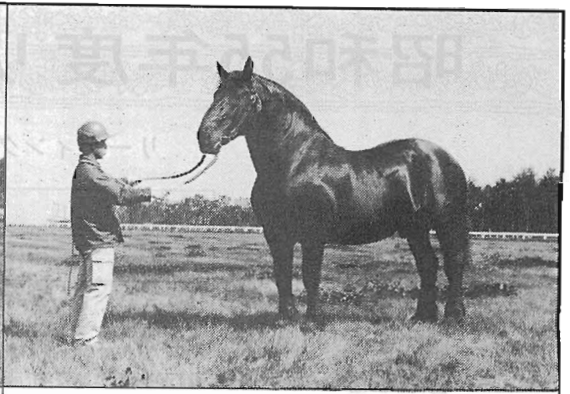
ペル第一ニジェリア — ペル ニジェリア  
                               — ペル エイアン  
 重系 第二小桜 — ペル系 繁栄  
                               — 重系 小桜



### ミクロン号

1. 生年月日 S.46.5.1
2. 生産地 上土幌町
3. 生産者 八木谷 善太郎
4. 通算成績 121戦15勝
5. 取得賞金額 8,766,000円
6. 血統

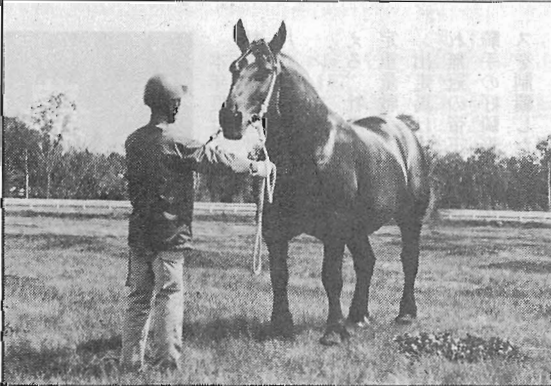
ブル オミクロン — [ブル アタシャン  
ブル ジロフレ  
ベル系 協宝 — [ベル 協進  
重半 第五栗花



### ハウエイオー号

1. 生年月日 S.46.5.12
2. 生産地 幕別町
3. 生産者 佐藤 吉朗
4. 通算成績 122戦11勝
5. 取得賞金額 5,234,000円
6. 血統

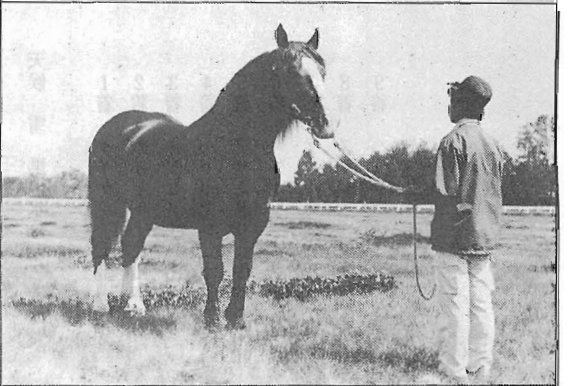
ベル ウルバン — [ベル イポワール  
ベル ラビット  
ベル系 映旭 — [ベル エタロン  
ベル系 第二朝日



### ミスタカヒメ号

1. 生年月日 S.46.6.7
2. 生産地 阿寒町
3. 生産者 —
4. 通算成績 105戦20勝
5. 取得賞金額 14,285,000円
6. 血統

ベル 英勝 — [ベル ノマード  
ベル 福英  
中半 一世ポテ姫 — [ブル ポテック  
アノ系 英祥



### マツヤマ号

1. 生年月日 S.46.4.10
2. 生産地 津別町
3. 生産者 井上 定雄
4. 通算成績 122戦9勝
5. 取得賞金額 3,551,000円
6. 血統

ベル 晏榮 — [ベル ニジェリア  
ベル 英烈  
重半 初駒 — [ベル 呂白  
アノ系 第二ゼリコ

# 昭和55年度リーディング

## リーディングトレーナー



畠中 芳勝

順位	氏名	勝率(%)
1	畠中 芳勝	17.29
2	晴披 孝治	13.90
3	大野 英夫	13.87
4	本沢 政一	13.54
5	木村 与忽治	13.43



晴披 孝治

## リーディングジョッキー



金山 明彦

順位	氏名	勝率(%)
1	金山 明彦	18.96
2	西 弘美	14.51
3	尾ヶ瀬 富雄	14.43
4	木村 卓司	12.36
5	水上 勲	12.08



西 弘美

- 天候 雪 馬場水分 三・一%
- 1着 ダイケツ (金山)
  - 2着 カイリキ (山本)
  - 3着 キヨヒメ (山田)
  - 4着 ハヤホマレ (水上)
  - 5着 アサミドリ (佐伯)
  - 6着 キンボシ (久田)
  - 7着 テツワカ (片平)
  - 8着 スイシヨウ (尾ヶ瀬)
  - 9着 ハクリユウ (平田)
- キョウエイ (木村) 競走中止

本年度ばんえい競走の駿馬をきめる「農林水産大臣賞」が時折雪が舞い降る十一月九日岩見沢競馬場で行われた。レースは、ばんえい重量の極量ともいえる、牡馬1トン、牝馬990キログの別定重量戦。出走馬は古馬の精鋭十頭によって争われ無冠の帝王をいわれたダイケツが金山騎手の好騎乗により農林水産大臣賞レースを制覇した。

**農林水産大臣賞**  
**ダイケツ制覇する**



## ダイケツ

昭和49年 5月5日 雄・青毛  
 生産地 中川郡豊頃町

父 鉄 鯉 {  
 ブルアンパレル  
 ブルキヤロリス  
 ブルキプロク  
 第七小波  
 第七小波

母 重半 小波 {  
 第七小波  
 第七小波

生産者 中川 吉松 馬主 林 タイ子  
 調教師 林 正男



